

**DSS**

**NV 3000/5000/6000/7000**

**DVR 監視システム**

**取扱説明書**



## FCC（米国連邦通信委員会）通知

本機は、FCC 規則第 15 章に定められたクラス A デジタル機器に関する規制要件に基づいて所定の試験が実施され、これに適合するものと認定されています。これらの規制は、商業的、工業的あるいはビジネス環境における有害な妨害（干渉）に対し適正な保護を提供することを目的としています。本機は無線周波エネルギー（電磁波）を発生、使用および放射する可能性があります、本機を取扱説明書の指示どおりに据え付けて使用しない場合は、無線通信を妨害する可能性があります。但し、いかなる設置状況においても、絶対に妨害が発生しないという保証はありません。本機により無線あるいは TV の受信が妨害される場合は（本機の電源を入/切して本機が原因であるか否かを確認できます）、以下のいずれかあるいは複数の措置を講じて妨害を取り除くよう推奨します。

- 受信アンテナの向きあるいは位置を変える。
- 本機と受信機の距離をさらに離す。
- 本機を、受信機が接続されているコンセントとは異なる回路上のコンセントに接続する。
- 販売店あるいは専門の無線/TV 技術者に相談する。

本機は FCC 規則第 15 章に適合しています。本機は、下記の 2 つの条件を前提として作動します。(1) 本機は有害な干渉（混信）を起こさない。(2) 本機は、誤作動を引き起こす干渉を含め、いかなる干渉にも影響を受けない。

## 改造に対する警告

本機は、FCC 規則第 15 章に定められたクラス A デジタル機器に関する規制要件を満たすためには、クラス A 規制要件に適合すると認定を受けたコンピュータ機器にインストールする必要があります。コンピュータおよび周辺機器に接続するすべてのケーブルは、シールドおよび接地する必要があります。非認定コンピュータあるいはシールドされていないケーブルを使用して操作した場合は、無線あるいは TV 受信に対し妨害が発生する可能性があります。

本機の製造者により明示的に認可されていない変更や改造を行うと、ユーザーの本機を操作する権利が無効になる可能性があります。

## CE 通知

本製品は、加盟諸国の電磁環境両立性（電磁波による障害を受けない特性を有すること）に関連する法律に基づく 92/31/EEC により修正された EU 理事会指令 89/336/EEC の保護要件に準拠しています。

**警告** 本製品はクラス A 製品です。家庭用途において、本製品は、その障害を修正するために適切な処置を講じる必要のある電磁波障害（無線妨害）を引き起こす可能性があります。

## 免責条項

本書の内容、製品の品質、性能、商品適合性、あるいは特定用途に対する適合性に対し、明示または黙示を問わず、いかなる保証あるいは表明も行わないものとします。本書に記載されている情報の信頼性につきましては入念に確認しておりますが、内容の誤りに関しましては、いかなる責任をも負いません。本書に記載されている内容は、予告なく変更される場合があります。



下記の情報は、EU 加盟諸国にのみ適用されます：

このマークは、本製品を家庭廃棄物として廃棄するべきではないことを表します。本製品を正しく廃棄することにより、本製品の不適切な廃棄により発生しうる環境および人体の健康へのマイナス影響をなくすことができます。本製品のリサイクルに関する詳細は、お住まいの自治体あるいはご利用の一般廃棄物処理業者、または本製品をお買い上げ頂いた販売店までお問い合わせください。



# 目次

<b>第 1 章</b>	<b>はじめに</b>	<b>1</b>
	NV3000 パッケージ内容	1
	NV5000 パッケージ内容	1
	NV6000 パッケージ内容	1
	NV7000 パッケージ内容	2
	OSDキット (オプション)	2
	NV3000 カードの各部名称	2
	NV5000 カードの各部名称	3
	NV6000 カードの各部名称	3
	NV7000 カードの各部名称	3
	赤外線USBレシーバーと接続方法	4
	本取扱説明書で使用する絵表示	4
<b>第 2 章</b>	<b>ハードウェアのインストール</b>	<b>5</b>
2. 1	最低限必要なシステム要件	5
2. 2	NV3000/5000/6000/7000 ハードウェアの組み合わせ	5
2. 3	NV3000 ハードウェアのインストール	7
2. 3. 1	1 枚のNV3000 カードおよび 1 枚の I/O オーディオカード (オプション) をインストールする	7
2. 3. 2	2 枚のNV3000 カードおよび 2 枚の I/O オーディオカード (オプション) をインストールする	7
2. 3. 3	4 枚のNV3000 カードをインストールする	8
2. 4	NV5000 ハードウェアのインストール	8
2. 4. 1	1 枚のNV5000 カードをインストールする	8
2. 4. 2	1 枚のNV5000 カードおよび 1 枚の I/O オーディオカードをインストールする	9
2. 4. 3	1 枚のNV5000 カードおよび 3 枚の BNC ビデオ拡張カードをインストールする	9
2. 4. 4	1 枚のNV5000 カード、1 枚の I/O オーディオカード、および 1 枚の BNC ビデオ拡張カード (オプション) をインストールする	10
2. 4. 5	2 枚のNV5000 カードおよび 2 枚の BNC ビデオ拡張カードをインストールする	10
2. 5	NV6000 ハードウェアのインストール	11
2. 5. 1	1 枚のNV6000 カードおよび 1 枚の I/O カードをインストールする	11
2. 6	NV7000 ハードウェアのインストール	11

2.6.1	1 枚のNV7000 カードおよび 1 枚の I/O カードをインストールする .....	11
2.6.2	4 枚のNV7000 カードをインストールする .....	12
2.6.3	2 枚のNV7000 カードおよび 2 枚の I/O カードをインストールする .....	12
2.7	ウォッチドッグ線の接続 .....	13
2.7.1	ウォッチドッグ線を NV3000/5000 に接続する .....	13
2.7.2	ウォッチドッグ線を NV6000 に接続する .....	13
2.7.3	ウォッチドッグ線を NV7000 に接続する .....	14
2.8	カメラ、TV、オーディオ機器の接続 .....	14
2.8.1	カメラ、TV、オーディオ機器を NV3000/5000 に接続する .....	14
2.8.2	カメラ、TV、オーディオ機器を NV6000 に接続する .....	15
2.8.3	カメラ、TV、オーディオ機器を NV7000 に接続する .....	15
2.9	外部 I/O ボックスを NV3000/5000 I/O カードに接続する .....	17
2.9.1	I/O ボックスセンサーおよびリレーのピン穴割り当て: .....	17
2.10	外部センサー/リレー機器を NV6000/7000 I/O カードに接続する ..	18
2.10.1	I/O カードセンサーおよびリレーのピン穴割り当て: .....	18
2.11	センサー入力およびリレー出力の仕様 .....	18
2.12	POS（販売時点情報管理）システムとの接続 .....	19
<b>第 3 章</b>	<b>ソフトウェアのインストール .....</b>	<b>20</b>
3.1	NV DVR ソフトウェアおよびドライバを Windows XP/2000 にインストールする .....	21
<b>第 4 章</b>	<b>NV DVR ソフトウェアを使用する .....</b>	<b>22</b>
4.1	NV DVR ソフトウェアを起動する .....	22
4.2	スクリーンキーボードを使用する .....	22
4.3	プレビュー/アドバンスドモードのボタンについて .....	23
4.4	コンパクトモードのボタンについて .....	25
4.5	再生モードのボタンについて .....	27
4.6	PTZ カメラコントローラーのボタンについて .....	29
4.7	E マップ（電子地図）の設定と使用方法 .....	30
4.7.1	E マップ（電子地図）を設定するには .....	30
4.7.2	E マップ（電子地図）を使用するには .....	31
4.8	録画ビデオの任意部分をカットして保存するには .....	32
4.9	ビデオの任意セクションをブックマークするには .....	32
4.10	ビジュアル検索機能を使用して画像を検索するには .....	33
4.11	イベント検索機能を使用して画像を検索するには .....	33
4.12	インテリジェント検索機能を使用して画像を検索するには .....	33
4.13	PTZ カメラを設定するには .....	34

<b>第 5 章</b>	<b>NV DVRシステムのカスタマイズ .....</b>	<b>36</b>
5.1	システム設定 .....	36
5.1.1	POSセッティングを設定するには .....	38
5.2	カメラ設定 .....	39
5.3	録画設定 .....	42
5.3.1	画面上の任意のエリアをマスク/シールドするには: .....	44
5.3.2	マスクを表示しマスクの色を変更するには: .....	44
5.4	ネットワーク設定 .....	44
5.5	スケジュール設定 .....	45
5.5.1	スケジュールを任意の1時間の特定の時間ブロックに対して 設定するには: .....	46
5.6	バックアップ設定 .....	46
5.7	センサー設定 .....	47
5.8	リレー設定 .....	48
5.9	アラーム設定 .....	49
5.9.1	アラーム音を設定するには: .....	51
5.9.2	電話通知を設定するには .....	51
5.9.3	電子メール送信を設定するには .....	52
5.9.4	FTPによるファイル送信を設定するには .....	54
5.9.5	録画の開始を設定するには .....	54
5.9.6	SMS/MMSを設定するには .....	54
5.9.7	PTZプリセットポイントを設定するには .....	55
5.9.8	アラーム発生時の標準作業手順を設定するには: .....	55
5.10	ユーザー設定 .....	56
<b>第 6 章</b>	<b>バックアップビデオファイルの再生（バックアップビデオ用ブ レーヤー） .....</b>	<b>58</b>
6.1	QLogVIEWERのボタンについて .....	58
6.2	PLAYERのボタンについて .....	60
<b>第 7 章</b>	<b>ファンクションキーを使用する .....</b>	<b>62</b>
<b>第 8 章</b>	<b>遠隔プログラムを使用する .....</b>	<b>62</b>
8.1	NV DVR ウェブカメラのボタンについて .....	63
8.1.1	遠隔システムを設定するには .....	65
8.2	ウェブカメラ PTZのボタンについて .....	67
8.3	遠隔コンソールのボタンについて .....	68
8.3.1	遠隔コンソール設定を設定するには .....	70
8.4	遠隔再生を使用する .....	71
8.4.1	ローカル再生モードのボタンについて .....	72

8.4.2	リアルタイム再生モードのボタンについて .....	74
8.4.3	ダウンロード後再生モードのボタンについて .....	76
8.5	ハンディービューアーを使用してNV DVRサーバーにアクセスする .....	77
8.6	PDA VIEWERを使用してNV DVRサーバーにアクセスする .....	77
8.6.1	PDA ViewerをActiveSync通じてインストールするには .....	78
8.6.2	PDA Viewerをインターネットからインストールするには .....	79
8.6.3	PDA Viewerの使用方法 .....	80
<b>第9章</b>	<b>画像照合 .....</b>	<b>81</b>
9.1	IMAGEVERIFICATION（画像照合）プログラムを起動するには .....	81
<b>第10章</b>	<b>ビデオエンハンサー .....</b>	<b>82</b>
<b>第11章</b>	<b>ウェブツール .....</b>	<b>85</b>
11.1	ディスパッチサーバー .....	85
11.2	遠隔バックアップ .....	85

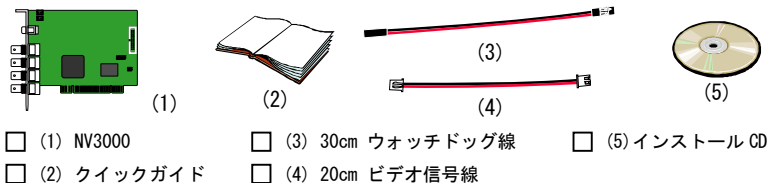
## 第1章 はじめに

DSS NV DVR は、デジタルビデオ監視システムとして機能する 32 ビット PCI ビデオキャプチャカードです。4 台から 16 台までのカメラ入力によるフルカラー画像およびリアルタイムビデオを同時に取り込むことができます。

DSS NV DVR は、最新の「動き検知」技術により、監視エリアにて動きを検知すると自動的に録画を開始し、アラームを作動させます。もう一日中一瞬も逃さずモニターを監視する必要はありません。このシステムは、特定の出来事が発生すると、自動的に警告を発してお知らせします。

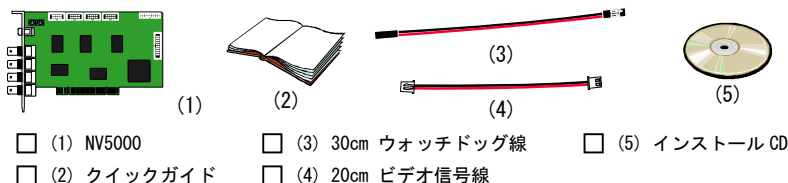
### NV3000 パッケージ内容

NV3000 パッケージに含まれるものは以下のとおりです。



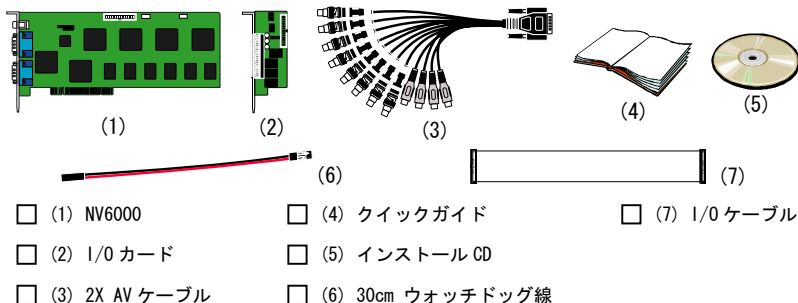
### NV5000 パッケージ内容

NV5000 パッケージに含まれるものは以下のとおりです。



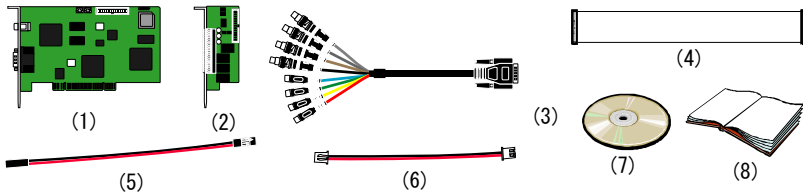
### NV6000 パッケージ内容

NV6000 パッケージに含まれるものは以下のとおりです。



## NV7000 パッケージ内容

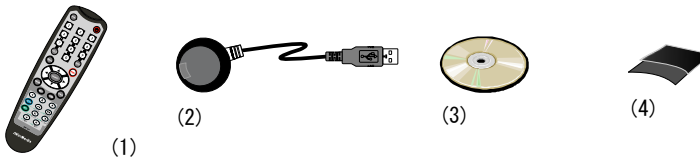
NV7000 パッケージに含まれるものは以下のとおりです。



- |                                      |  |  |
|--------------------------------------|--|--|
| <input type="checkbox"/> (1) NV7000  | <input type="checkbox"/> (4) I/O 接続ケーブル    | <input type="checkbox"/> (7) インストール CD |
| <input type="checkbox"/> (2) I/O カード | <input type="checkbox"/> (5) 30cm ウォッチドッグ線 | <input type="checkbox"/> (8) クイックガイド   |
| <input type="checkbox"/> (3) AV ケーブル | <input type="checkbox"/> (6) 20cm ビデオ信号線   |  |

## OSD キット (オプション)

これを装備することで、NV シリーズの DVR をリモコンで操作することができます。

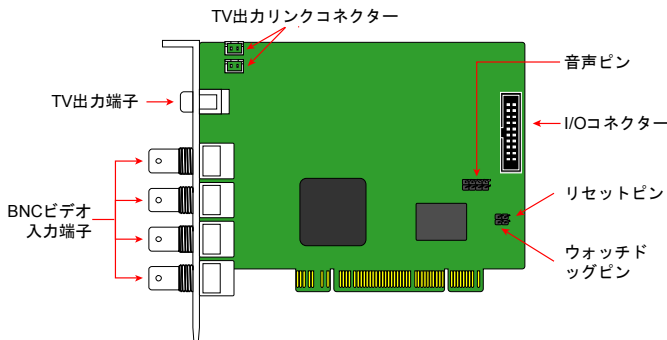


- |   |  |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> (1) リモコン (電池内蔵)  | <input type="checkbox"/> (3) OSD インストール CD |
| <input type="checkbox"/> (2) USB 接続赤外線受光部 | <input type="checkbox"/> (4) 2X ベルクロストリップ  |

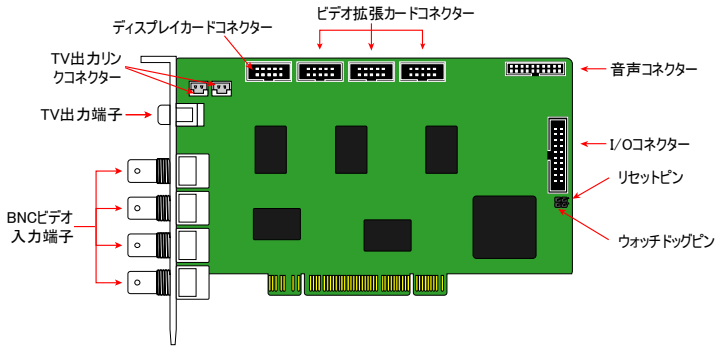


パッケージに含まれる製品が破損したり不足している場合、あるいは上記と異なる場合は、お手数ですが最寄の販売店までご連絡ください。

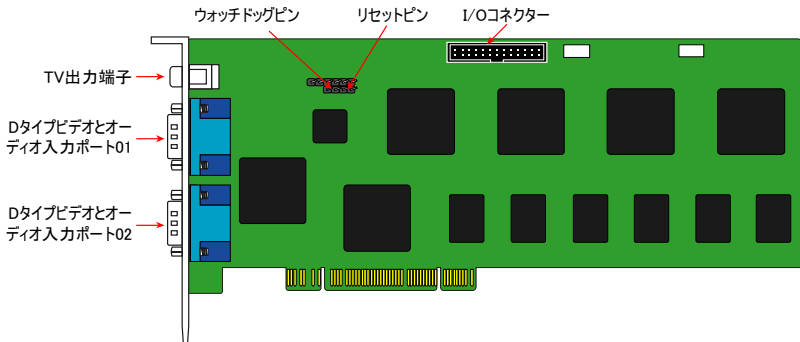
## NV3000 カードの各部名称



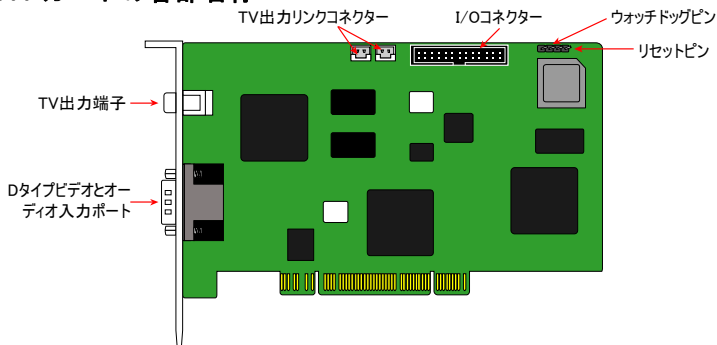
## NV5000 カードの各部名称



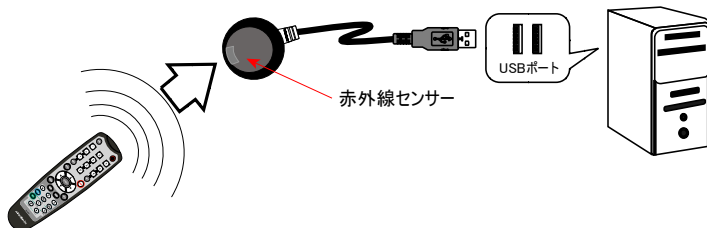
## NV6000 カードの各部名称



## NV7000 カードの各部名称



## 赤外線 USB レシーバーと接続方法



## 本取扱説明書で使用する絵表示

本取扱説明書では、注意が必要な箇所に次の絵表示を使用しています。



「注意」マークは、重要なインストールおよび操作手順であることを表します。このマークのある指示に従わない場合は、システムにダメージを与える可能性があります。



「情報」マークは、さらに詳しい補足説明であることを表します。



## 第2章 ハードウェアのインストール

### 2.1 最低限必要なシステム要件

まず、ご使用になる PC が以下の最低限必要なシステム要件を満たしていることを確認してください。

- ☐ CPU : Pentium® 4 2.8GHz 以上推奨
- ☐ マザーボード : Intel 865、875、915 チップセット（現時点において VIA/SiS/ALi チップセットマザーボードはサポートしていません）
- ☐ OS : Windows2000 Professional または Windows XP Professional
- ☐ 拡張スロット : 1/2/3/4 × 32 ビット PCI 2.1 準拠スロット
- ☐ RAM : DDR 512MB 以上
- ☐ ハードディスク : ハードディスクの空き容量 120GB、または各パーティションあたりの空き容量最低 60GB
- ☐ メディア : CD-ROM ドライブ
- ☐ VGA : 16 ビット ハイカラー SVGA グラフィックスカード（DirectDraw & YUV レンダリング機能付、64MB ビデオメモリ）
- ☐ 音声 : サウンドカードおよびスピーカー



推奨ハードウェア一覧のアップデート情報は本製品を購入された販売店までお問い合わせください。

### 2.2 NV3000/5000/6000/7000 ハードウェアの組み合わせ

DSS NV DVR は、パワフルな監視機能を提供し、また、ハードウェアをフレキシブルに組み合わせることが可能です。以下の表は、ハードウェアの組み合わせによるカメラ入力数、音声入力数、センサー入力数、リレー出力数一覧です。



カードを取り付ける前に、必ず PC の電源を **OFF（オフ）** にして電源ケーブルを **UNPLUGGED（抜き）**、PC の背面に接続されているすべてのケーブルを **DISCONNECTED（外して）** ください。

複数のカードを取り付ける場合は、カードを 1 枚ずつ順番に配置し、ケーブルが絡まないように接続してください。

#### NV3000 ハードウェアの組み合わせ：

ハードウェアの組み合わせ		カメラ入力	音声入力	センサー入力	リレー出力
NV3000 カード	I/O オーディオカード				
1	0	4	0	0	0
	1	4	1	4	3
2	0	8	0	0	0
	1	8	1	4	3
	2	8	2	8	6

# NV3000/5000/6000/7000 取扱説明書

## NV3000 ハードウェアの組み合わせ:

ハードウェアの組み合わせ		カメラ入力	音声入力	センサー入力	リレー出力
NV3000 カード	I/O オーディオカード				
3	0	12	0	0	0
	1	12	1	4	3
	2	12	2	8	6
4	0	16	0	0	0
	1	16	1	4	3
	2	16	2	8	6

## NV5000 ハードウェアの組み合わせ:

ハードウェアの組み合わせ			カメラ入力	音声入力	センサー入力	リレー出力
NV5000 カード	BNC ビデオ拡張カード	I/O オーディオカード				
1	0	0	4	0	0	0
		1	4	4	4	3
	1	0	8	0	0	0
		1	8	4	4	3
	2	0	12	0	0	0
		1	12	4	4	3
	3	0	16	0	0	0
		1	16	4	4	3
2	0	0	8	0	0	0
		1	8	4	4	3
	2	0	16	0	0	0
		1	16	4	4	3

## NV6000 ハードウェアの組み合わせ:

ハードウェアの組み合わせ		カメラ入力	音声入力	センサー入力	リレー出力
NV6000 カード	I/O カード				
1	1	16	8	4	4

## NV7000 ハードウェアの組み合わせ:

ハードウェアの組み合わせ		カメラ入力	音声入力	センサー入力	リレー出力
NV7000 カード	I/O カード				
1	1	4	4	4	4
2	1	8	8	4	4
	2	8	8	8	8
3	1	12	12	4	4
	2	12	12	8	8
	3	12	12	12	12
4	1	16	16	4	4
	2	16	16	8	8
	3	16	16	12	12
	4	16	16	16	16

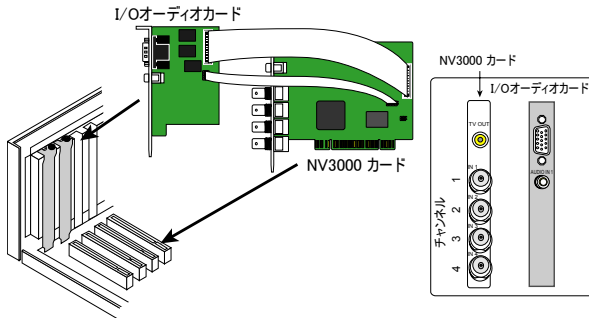
## 2.3 NV3000 ハードウェアのインストール

### 2.3.1 1 枚の NV3000 カードおよび 1 枚の I/O オーディオカード（オプション）をインストールする



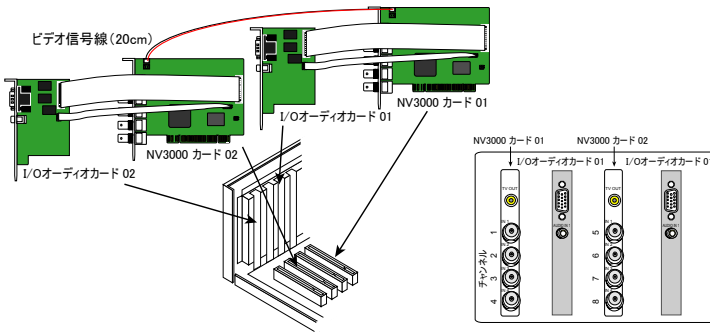
I/O オーディオカードはオプションです。D タイプの I/O ポートはセンサーおよびリレー機器が接続されている I/O ボックスから信号を送受信し、音声入力ポートはマイクからの信号を受信します。NV3000 カードは、1 つの音声入力のみに対応した I/O オーディオカードと互換性があります。

1. PC のカバーを外します。
2. PCI スロットをカバーしているブラケットを 2 個取り外します。ネジを取っておきます。
3. NV3000 カードと I/O オーディオカードを、接続ケーブルを使用して接続します。
4. カードを PCI スロットにしっかりと挿し込みます。
5. カードをネジで固定します。



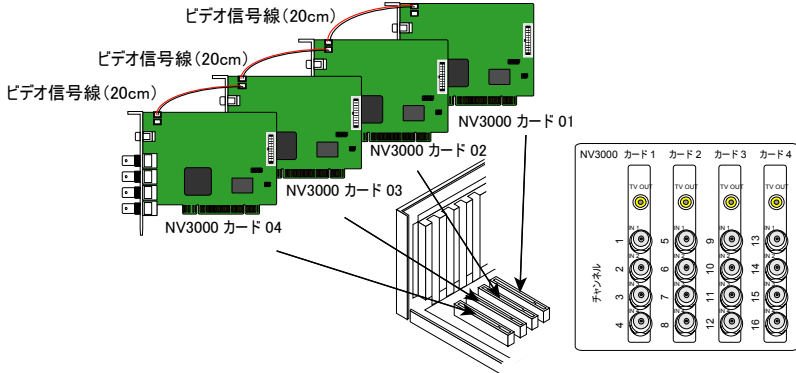
### 2.3.2 2 枚の NV3000 カードおよび 2 枚の I/O オーディオカード（オプション）をインストールする

1. PC のカバーを外します。
2. PCI スロットをカバーしているブラケットを 4 個取り外します。ネジを取っておきます。
3. NV3000 カードと I/O オーディオカードを、接続ケーブルを使用して接続します。
4. 2 枚の NV3000 カードを、付属のビデオ信号線（20cm）で接続します。
5. カードを PCI スロットにしっかりと挿し込みます。
6. カードをネジで固定します。



### 2.3.3 4 枚の NV3000 カードをインストールする

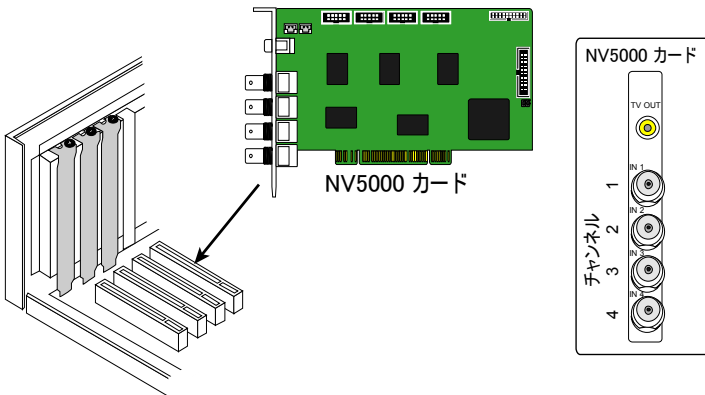
1. PC のカバーを外します。
2. PCI スロットをカバーしている 4 個のブラケットを取り外します。ネジを取っておきます。
3. 4 枚の NV3000 カードを、付属のビデオ信号線（20cm）で接続します。
4. カードを PCI スロットにしっかりと挿し込みます。
5. カードをネジで固定します。



## 2.4 NV5000 ハードウェアのインストール

### 2.4.1 1 枚の NV5000 カードをインストールする

1. PC のカバーを外します。
2. PCI スロットをカバーしているブラケットを 1 個取り外します。ネジを取っておきます。
3. NV5000 カードを PCI スロットにしっかりと挿し込みます。
4. カードをネジで固定します。

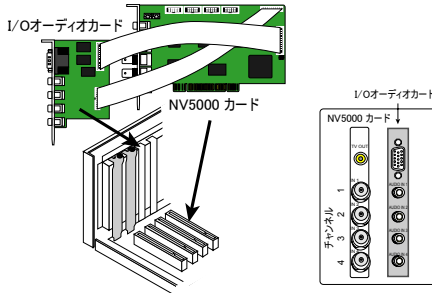


### 2.4.2 1 枚の NV5000 カードおよび 1 枚の I/O オーディオカードをインストールする



I/O オーディオカードはオプションです。D タイプの I/O ポートはセンサーおよびリレー（中継）機器が接続されている I/O ボックスから信号を送受信し、音声入力ポートはマイクからの信号を受信します。NV5000 カードは、4 つの音声入力に対応した I/O オーディオカードと互換性があります。

1. PC のカバーを外します。
2. PCI スロットをカバーしているブラケットを 2 個取り外します。ネジを取っておきます。
3. NV5000 カードと I/O オーディオカードを、接続ケーブルを使用して接続します。
4. カードを PCI スロットにしっかりと挿し込みます。
5. カードをネジで固定します。

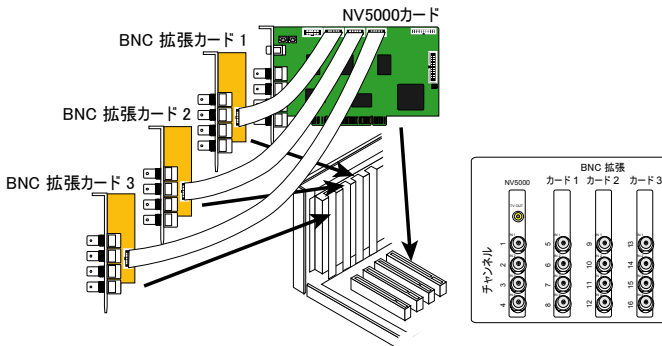


### 2.4.3 1 枚の NV5000 カードおよび 3 枚の BNC ビデオ拡張カードをインストールする



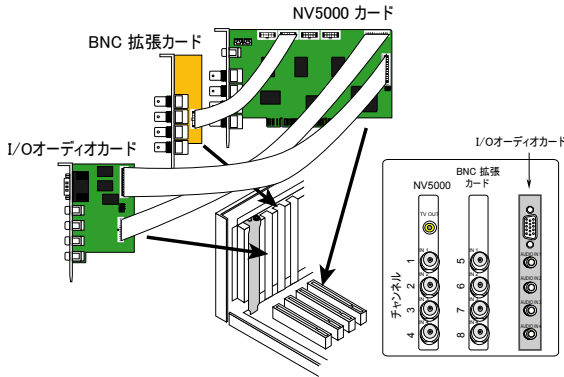
BNC ビデオ拡張カードはオプションです。1 枚のビデオ拡張カードは 4 つの BNC ビデオ入力ポートが備わり、4 つの追加チャンネルを提供します。

1. PC のカバーを外します。
2. PCI スロットをカバーしているブラケットを 4 個取り外します。ネジを取っておきます。
3. NV5000 カードと BNC ビデオ拡張カードを、接続ケーブルを使用して接続します。
4. カードを PCI スロットにしっかりと挿し込みます。
5. カードをネジで固定します。



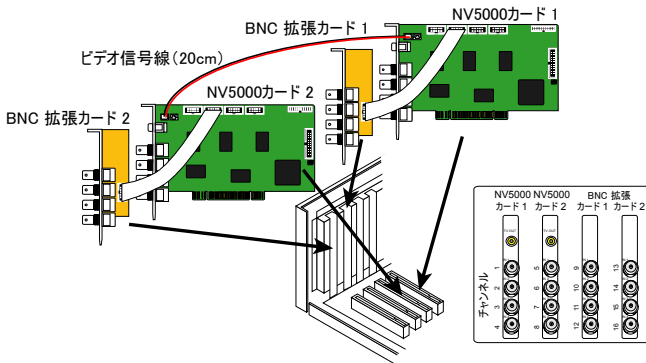
#### 2.4.4 1 枚の NV5000 カード、1 枚の I/O オーディオカード、および 1 枚の BNC ビデオ拡張カード（オプション）をインストールする

1. PC のカバーを外します。
2. PCI スロットをカバーしているブラケットを 3 個取り外します。ネジを取っておきます。
3. NV5000 カードと BNC ビデオ拡張カードおよび I/O オーディオカードを、接続ケーブルを使用して接続します。
4. カードを PCI スロットにしっかりと挿し込みます。
5. カードをネジで固定します。



#### 2.4.5 2 枚の NV5000 カードおよび 2 枚の BNC ビデオ拡張カードをインストールする

1. PC のカバーを外します。
2. PCI スロットをカバーしているブラケットを 4 個取り外します。ネジを取っておきます。
3. NV5000 カードと BNC ビデオ拡張カードを、接続ケーブルを使用して接続します。
4. 2 枚の NV5000 カードを、付属のビデオ信号線（20cm）で接続します。
5. カードを PCI スロットにしっかりと挿し込みます。
6. カードをネジで固定します。

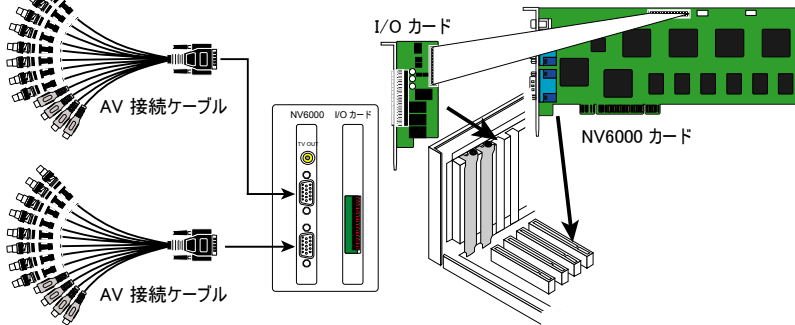


## 2.5 NV6000 ハードウェアのインストール

NV6000 カードは最大で 16 台のカメラと 8 つの音声入力をサポートすることができます。

### 2.5.1 1 枚の NV6000 カードおよび 1 枚の I/O カードをインストールする

1. PC のカバーを外します。
2. PCI スロットをカバーしているブラケットを 2 個取り外します。ネジを取っておきます。
3. NV6000 カードと I/O カードを、接続ケーブルを使用して接続します。
4. カードを PCI スロットにしっかりと挿し込みます。
5. カードをネジで固定します。
6. 付属の AV 接続ケーブルを、D タイプビデオとオーディオ入力ポートに接続します。

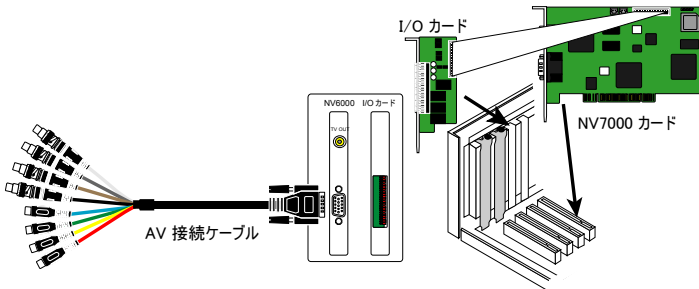


## 2.6 NV7000 ハードウェアのインストール

付属の AV 接続ケーブルを使用して、最大で 4 台のカメラおよび 4 つの音声入力を供給することができます。

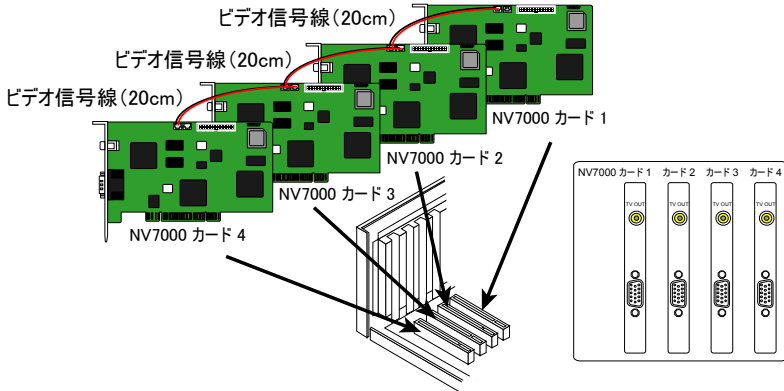
### 2.6.1 1 枚の NV7000 カードおよび 1 枚の I/O カードをインストールする

1. PC のカバーを外します。
2. PCI スロットをカバーしているブラケットを 2 個取り外します。ネジを取っておきます。
3. NV7000 カードと I/O カードを、接続ケーブルを使用して接続します。
4. カードを PCI スロットにしっかりと挿し込みます。
5. カードをネジで固定します。
6. 付属の AV 接続ケーブルを、D タイプビデオとオーディオ入力ポートに接続します。



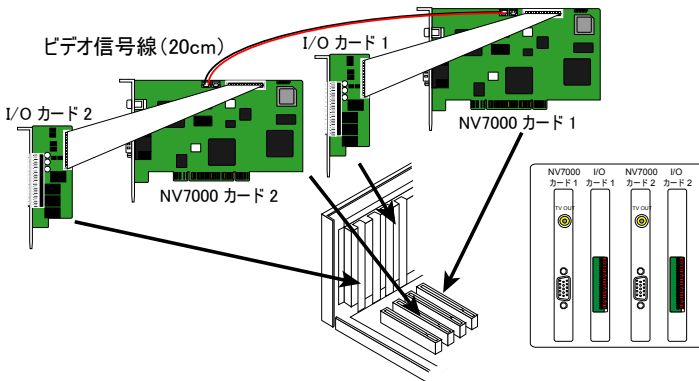
## 2.6.2 4 枚の NV7000 カードをインストールする

1. PC のカバーを外します。
2. PCI スロットをカバーしているブラケットを 4 個取り外します。ネジを取っておきます。
3. 4 枚の NV7000 カードを、付属のビデオ信号線（20cm）で接続します。
4. カードを PCI スロットにしっかりと挿し込みます。
5. カードをネジで固定します。



## 2.6.3 2 枚の NV7000 カードおよび 2 枚の I/O カードをインストールする

1. PC のカバーを外します。
2. PCI スロットをカバーしているブラケットを 4 個取り外します。ネジを取っておきます。
3. 4 枚の NV7000 カードを、付属のビデオ信号線（20cm）で接続します。
4. カードを PCI スロットにしっかりと挿し込みます。
5. カードをネジで固定します。





## 2.7 ウォッチドッグ線の接続

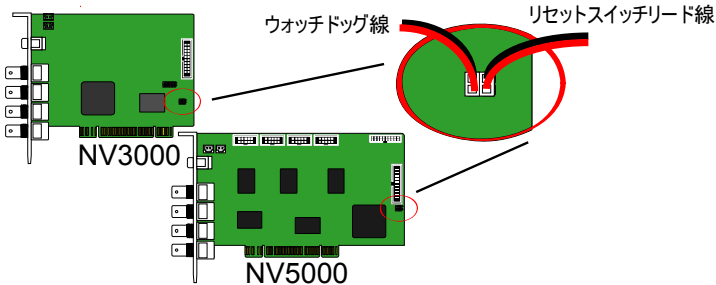
NV DVR プログラムは、自身の動作を常時モニターします。NV3000/5000/6000/7000 をマザーボードのリセットスイッチパネルに接続することで、エラーが検出されるとユニットを自動的に再起動させ、システムをリセットすることができます。



複数の NV3000/5000/7000 カードを取り付けている場合は、最後のカードにウォッチドッグ線を接続します。

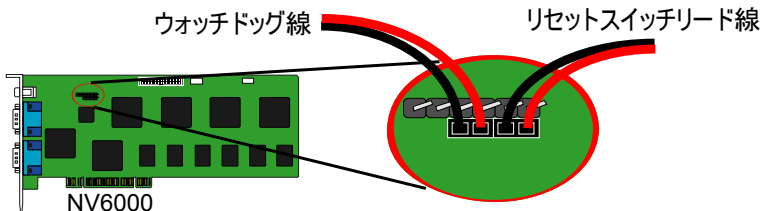
### 2.7.1 ウォッチドッグ線を NV3000/5000 に接続する

1. 「RESET SW (リセットスイッチ)」と記載のあるスイッチリード線を、NV3000/5000 カードのリセットピンに接続します。
2. 付属のウォッチドッグ線の一端を NV3000/5000 カードのウォッチドッグピンに接続し、もう一方をマザーボードの「RESET SW (リセットスイッチ)」パネルに接続します。詳細はマザーボードの取扱説明書を参照してください。
3. PC のカバーを元通りに取り付け、すべてのケーブルを接続します。



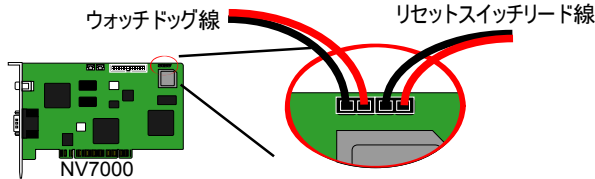
### 2.7.2 ウォッチドッグ線を NV6000 に接続する

1. 「RESET SW (リセットスイッチ)」と記載のあるスイッチリードを見つけ、NV6000 カードのリセットピンに接続します。
2. 付属のウォッチドッグ線の一端を NV6000 カードのウォッチドッグピンに接続し、もう一方をマザーボードの「RESET SW」パネルに接続します。詳細はマザーボードの取扱説明書を参照してください。
3. PC のカバーを元通りに取り付け、すべてのケーブルを接続します。



### 2.7.3 ウォッチドッグ線を NV7000 に接続する

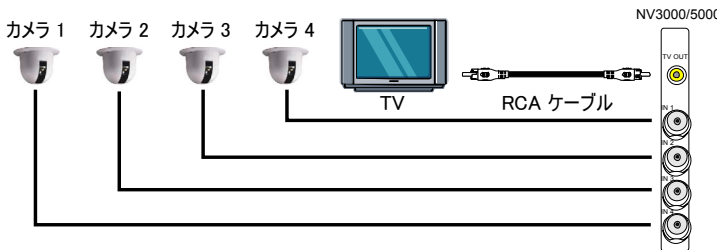
1. 「RESET SW (リセットスイッチ)」と記載のあるスイッチリードを見つけ、NV7000 カードのリセットピンに接続します。
2. 付属のウォッチドッグ線の一端を NV7000 カードのウォッチドッグピンに接続し、もう一方をマザーボードの「RESET SW」パネルに接続します。詳細はマザーボードの取扱説明書を参照してください。
3. PC のカバーを元通りに取り付け、すべてのケーブルを接続します。



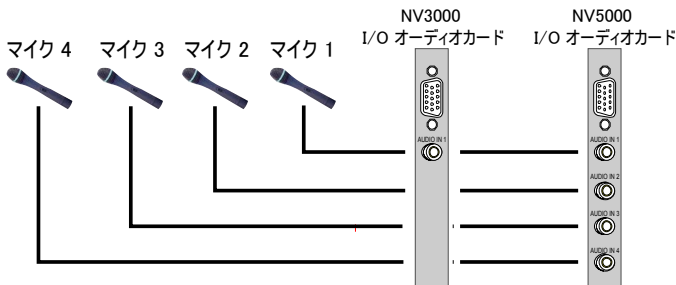
## 2.8 カメラ、TV、オーディオ機器の接続

### 2.8.1 カメラ、TV、オーディオ機器を NV3000/5000 に接続する

1. カメラを、BNCビデオ入力ポートに接続します (NV3000/5000 card parts を参照してください)。複数のカードを取り付けている場合は、カメラの順序はカードのインストールセクションで取り付けしたカード数を参考にしてください。
2. RCA ビデオケーブル (別売品) の一端を NV3000/5000 カードの TV OUT (TV 出力) 端子に接続し、もう一方を TV のビデオ入力端子に接続します。詳細は、TV の取扱説明書を参照してください。

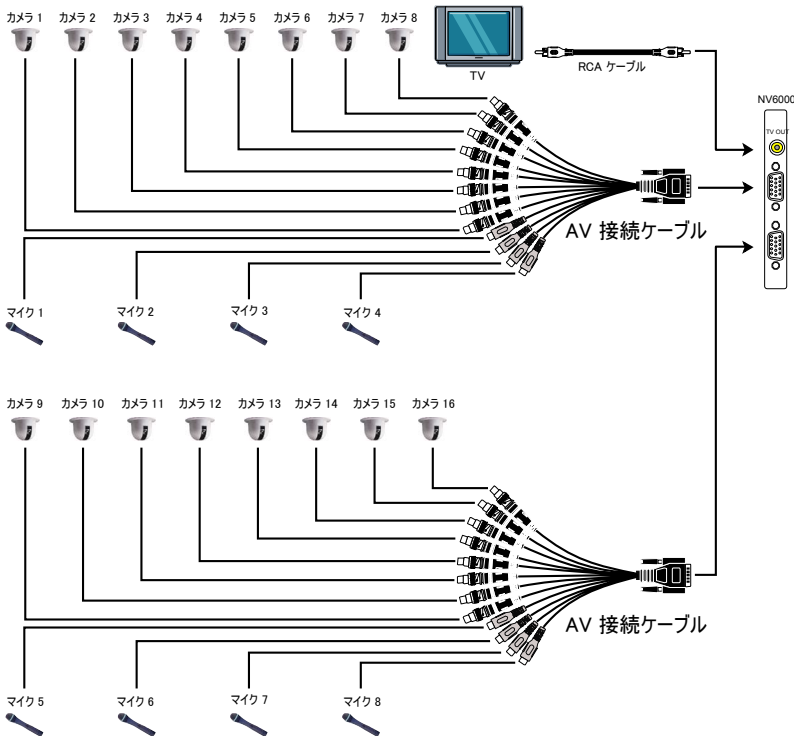


3. オーディオ機器を I/O カードの AUDIO IN (音声入力) 端子に接続します。



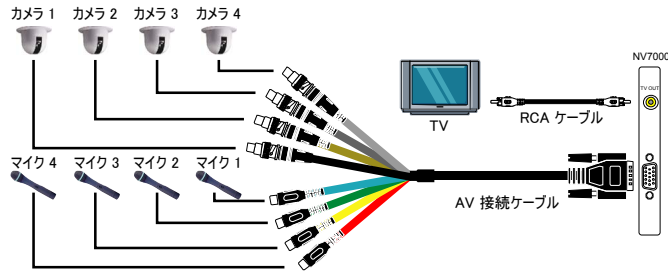
### 2.8.2 カメラ、TV、オーディオ機器を NV6000 に接続する

1. 付属のAV接続ケーブルを使用して、NV6000 カードのDタイプビデオとオーディオ入力ポートに接続します（[NV6000 card parts](#)を参照してください）。
2. カメラを BNC ビデオコネクタに接続し、オーディオ機器を RCA 音声コネクタに接続します。マークのある順序に基づいて、順番に接続します。
3. RCA ビデオケーブル（別売品）の一端を NV6000 カードの TV OUT（TV 出力）端子に接続し、もう一方を TV のビデオ入力端子に接続します。詳細は、TV の取扱説明書を参照してください。



### 2.8.3 カメラ、TV、オーディオ機器を NV7000 に接続する

1. 付属のAV接続ケーブルを使用して、NV7000 カードのDタイプビデオとオーディオ入力ポートに接続します（[NV7000 card parts](#)を参照してください）。
2. カメラを BNC ビデオコネクタに接続し、オーディオ機器を RCA 音声コネクタに接続します。マークのある順序に基づいて、順番に接続します。
3. RCA ビデオケーブル（別売品）の一端を NV7000 カードの TV OUT（TV 出力）端子に接続し、もう一方を TV のビデオ入力端子に接続します。詳細は、TV の取扱説明書を参照してください。



4. 複数のカードを取り付けている場合は、以下の AV 接続ケーブルの接続順序表を参照してください。

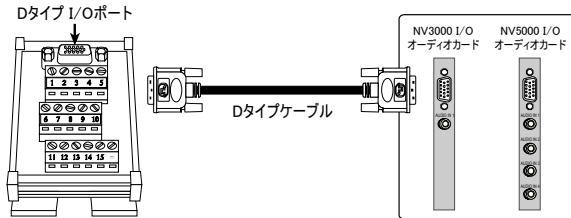
NV7000	カメラの接続順序	音声の接続順序
カード 1	BNC1 をカメラ 1 へ	音声 1 を音声チャンネル 1 へ
	BNC2 をカメラ 2 へ	音声 2 を音声チャンネル 2 へ
	BNC3 をカメラ 3 へ	音声 3 を音声チャンネル 3 へ
	BNC4 をカメラ 4 へ	音声 4 を音声チャンネル 4 へ
カード 2	BNC1 をカメラ 5 へ	音声 1 を音声チャンネル 5 へ
	BNC2 をカメラ 6 へ	音声 2 を音声チャンネル 6 へ
	BNC3 をカメラ 7 へ	音声 3 を音声チャンネル 7 へ
	BNC4 をカメラ 8 へ	音声 4 を音声チャンネル 8 へ
カード 3	BNC1 をカメラ 9 へ	音声 1 を音声チャンネル 9 へ
	BNC2 をカメラ 10 へ	音声 2 を音声チャンネル 10 へ
	BNC3 をカメラ 11 へ	音声 3 を音声チャンネル 11 へ
	BNC4 をカメラ 12 へ	音声 4 を音声チャンネル 12 へ
カード 4	BNC1 をカメラ 13 へ	音声 1 を音声チャンネル 13 へ
	BNC2 をカメラ 14 へ	音声 2 を音声チャンネル 14 へ
	BNC3 をカメラ 15 へ	音声 3 を音声チャンネル 15 へ
	BNC4 をカメラ 16 へ	音声 4 を音声チャンネル 16 へ

## 2.9 外部 I/O ボックスを NV3000/5000 I/O カードに接続する



外部 I/O ボックスはオプションです。4 つのセンサー入力および 3 つのリレー出力を供給します。

D タイプケーブルのオス側を I/O ボックスの D タイプ I/O ポートに、メス側を I/O カードの D タイプポートに接続します。下表を参照して、センサー入力およびリレー出力に割り当てるピン穴の位置を確認してください。



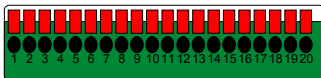
### 2.9.1 I/O ボックスセンサーおよびリレーのピン穴割り当て:

センサー（例えば赤外線センサー、煙感知器、近接センサーなど）からの信号は I/O カードへと送信され、これによりシステムが作動し、リレー機器（アラーム、電話など）に信号を送信します。

ピン番号	定義
1	入力信号 1+
2	入力信号 2+
3	入力信号 3+
4	入力信号 4+
5	出力 3 - ノーマルクローズ
6	入力信号 1- (GND)
7	入力信号 2- (GND)
8	入力信号 3- (GND)
9	入力信号 4- (GND)
10	出力 3 - コモン
11	出力 1 - ノーマルオープン
12	出力 1 - コモン
13	出力 2 - ノーマルオープン
14	出力 2 - コモン
15	出力 3 - ノーマルオープン

## 2.10 外部センサー/リレー機器を NV6000/7000 I/O カードに接続する

I/O オーディオカードを使用することにより、4 つのセンサー入力および 4 つのリレー出力を接続することができます。NV7000 I/O カードのピン穴に、直接外部センサーおよびリレーピンを接続するだけで OK です。下表を参照して、センサー入力およびリレー出力に割り当てるピン穴を確認してください。



### 2.10.1 I/O カードセンサーおよびリレーのピン穴割り当て：

センサー（例えば赤外線センサー、煙感知器、近接センサーなど）からの信号は I/O カードへと送信され、これによりシステムが作動し、リレー機器（アラーム、電話など）に信号を送信します。

ピン番号	定義	ピン番号	定義
1	センサー1 入力信号	11	リレー ノーマルクローズ 1
2	センサー1 出力信号	12	リレー コモン 2
3	センサー2 入力信号	13	リレー ノーマルオープン 2
4	センサー2 出力信号	14	リレー ノーマルクローズ 2
5	センサー3 入力信号	15	リレー コモン 3
6	センサー3 出力信号	16	リレー ノーマルオープン 3
7	センサー4 入力信号	17	リレー ノーマルクローズ 3
8	センサー4 出力信号	18	リレー コモン 4
9	リレー コモン 1	19	リレー ノーマルオープン 4
10	リレー ノーマルオープン 1	20	リレー ノーマルクローズ 4

## 2.11 センサー入力およびリレー出力の仕様

必要な場合は、以下のセンサー入力およびリレー出力の仕様一覧表を参照してください。

### A. センサー入力の仕様

#### 絶対最大定格

(Ta=25° C)

パラメータ		記号	定格	単位
入力	順電流	$I_F$	50	mA
	逆電圧	$V_R$	6	V
	電力損失	P	70	mW

#### 電気/光学特性

(Ta=25° C)

パラメータ		記号	最小	標準	最大	単位	条件
入力	順電流	$I_F$	-	1.2	1.4	V	$I_F=20mA$
	逆電圧	$V_R$	-	-	10	A	$V_R=4V$
	端子容量	$C_i$	-	30	250	pF	$V=0, f=1KHz$

パラメータ		記号	最小	標準	最大	単位	条件
出力	コレクター暗電流	$I_{CE0}$	—	—	100	nA	$V_{CE}=20V$
	コレクター・エミッタ間 降伏電圧	$BV_{CEO}$	35	—	—	V	$I_C=0.1mA$
	エミッタ・コレクター間 降伏電圧	$BV_{EBO}$	6	—	—	V	$I_E=10A$
特性 (換算) 測定	*電流伝達率	CTR	50	—	600	%	$I_F=5mA, V_{CE}=5V, R_{BE}=$
	コレクター電流	$I_C$	2.5	—	30	mA	
	コレクター・エミッタ間 降伏電圧	$V_{CE(sat)}$	—	0.1	0.2	V	$I_F=20mA, I_C=1mA$
	絶縁抵抗	$R_{ISO}$	$5 \times 10^{10}$	$10^{11}$	—		DC500V, 40~60% R. H.
	浮遊容量	$C_f$	—	0.6	1.0	pF	$V=0, f=1MHz$
	遮断周波数	$f_c$	—	80		KHz	
	応答時間 (上昇)	$t_r$	—	4	18	s	$V_{CE}=5V, I_C=2mA$ $R_L=100, -3dB$
	応答時間 (降下)	$t_f$	—	3	18	s	$V_{CE}=2V, I_C=2mA$ $R_L=100$

$$*CTR = \frac{I_C}{I_F} \times 100\%$$

## B. リレー出力の仕様

サージ電圧	: 1500 VAC
名目電力	: 200mw ~ 360mw
使用電力	: 110mw ~ 200mw

## C. コイル定格 (20℃時)

コイル名目電圧 (VDC)	コイル抵抗 10%	ピックアップ電圧 (VDC)	ドロップアウト電圧 (VDC)	名目電流 (mA)
5	125	3.75	0.5	40

\* 最大連続使用電圧 (20℃時) : コイル名目電圧の 110%

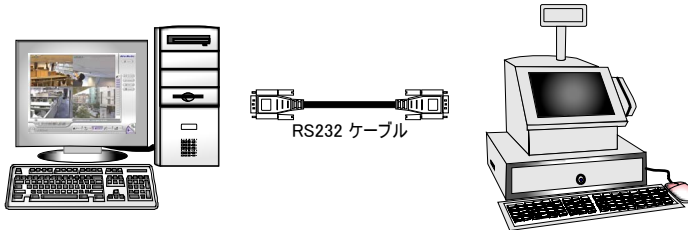
## D. コンタクト定格

接点構成	1 フォーム C (SPDT)
最大スイッチ電源	125VA 60W
最大スイッチ電圧	125VAC 30VDC
最大スイッチ電流	1A
接触抵抗	≤ 100mΩ
負荷抵抗	1A/125VAC 1A/30VDC

## 2.12 POS (販売時点情報管理) システムとの接続

DSS NV DVR は、POS システム装置との統合が可能です。POS 装置を DSS NV DVR システムに RS232 接続を通して接続することにより、販売した商品の表示、記録および追跡を行うことが可能となります。すべてのデータを表示するカメラを選択することも可能です。

接続を行うには、POS 装置および PC の RS232 ポートの位置を確認します。RS232 ケーブル (別売品) を使用して接続します。



### 第3章 ソフトウェアのインストール

本章では、NV DVR ソフトウェアおよびドライバのインストール方法について説明します。



CD キーは 1 つの PC の使用しか許されません。複数の PC では同一の CD キーを使うことは禁止されます。一旦見つけられたら、両方の PC システムに不具合が発生もしくは一部の機能が使えない場合があります。



ソフトウェアをインストールする前に、Windows OS のパッチおよびビデオグラフィックスカードのドライバが **UPDATED (アップデート済)** であることを確認してください。



ご使用の PC に旧バージョンの NV DVR ソフトウェアがインストールされている場合は、旧バージョンをアンインストールする必要があります。アンインストールするには、**Start (スタート) > Settings (設定) > Control Panel (コントロールパネル)** をクリックし、次に **Add/Remove Programs (アプリケーションの追加と削除)** をダブルクリックします。「プログラムの変更と削除」のプログラムリストから **NV DVR** を選択し、**Remove (削除)** をクリックします。



メインシステム (OS および NV DVR ソフトウェア)、保存、バックアップは、それぞれ別々のドライブ (計 3 つのドライブ) に分けることを **HIGHLY RECOMMEND (強くお勧め)** します。メインドライブの理想的なハードディスク容量は 20GB です。保存およびバックアップドライブについては、それぞれ最低 60GB 必要です。ハードディスクドライブのフォーマット形式は、**NTFS** とする必要があります。上記の項目をお守りいただくことにより、お客様のセキュリティシステムを最適な状態で維持することが可能となります。



Windows 2000 を使う場合、PC の BIOS システムのハイパースレッディング設定を無効にしてください。



### 3.1 NV DVR ソフトウェアおよびドライバを Windows XP/2000 にインストールする



PCの電源を入れたら、システムは自動的に新しくインストールされたハードウェアを検出します。Found New Hardware (新しいハードウェアを検出しました) というダイアログボックスが表示された場合は、**IGNORE (無視)** してください。

**注:** ドライバをインストールする前に、まず NV DVR ソフトウェアをインストールする必要があります。

1. CD-ROMドライブにOSDインストールCDを挿入し、**Install Surveillance System (監視システムのインストール)** をクリックします。画面に表示される指示に従います。



2. **Windows XP の場合:**

InstallDriver (ドライバのインストール) 画面が表示され、ドライバのインストールが開始することをお知らせします。所要時間は、インストールしようとするドライバの数に応じて異なります。Microsoft によるデジタル署名警告が表示されたら、**“Continue Anyway (続行する)”** をクリックしてください。


PCを再起動するかどうかを尋ねる画面が表示されたら、**Yes, I want to restart my computer now (はい、今すぐコンピュータを再起動します)** を選択して **Finish (終了)** をクリックします。

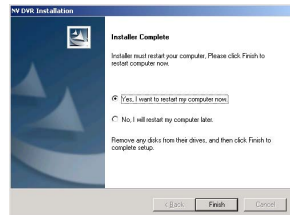
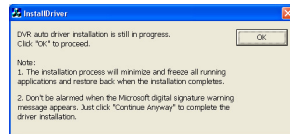
**Windows 2000 の場合:**

PCを再起動するかどうかを尋ねる画面が表示されたら、**Yes, I want to restart my computer now (はい、今すぐコンピュータを再起動します)** を選択して **Finish (終了)** をクリックします。このとき、NV DVR ソフトウェアはすでにインストール済みです。

再起動後、システムは再び自動的に新しくインストールされたハードウェアを検出します。


Microsoft によるデジタル署名警告が表示されたら、**OK** をクリックしてインストールを完了します。

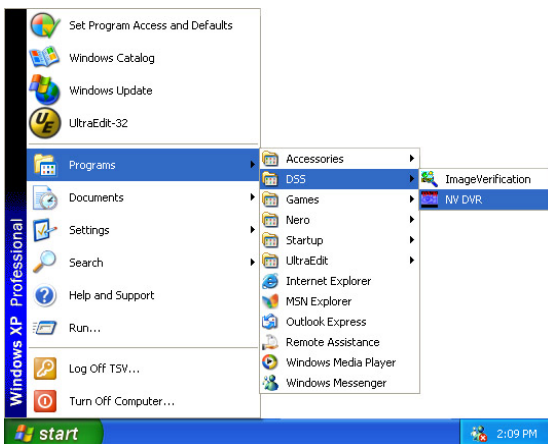
3. これで、NV DVR プログラムを起動することができます。アプリケーションを起動するには、PCのデスクトップにある  をクリックするか、**Start (スタート) > Programs (プログラム) > DSS > NV DVR** をクリックしてください。



## 第4章 NV DVR ソフトウェアを使用する

### 4.1 NV DVR ソフトウェアを起動する



アプリケーションを起動するには、PC のデスクトップにある  をダブルクリックするか、あるいは **Start (スタート) > Programs (プログラム) > DSS > NV DVR** をクリックしてください。

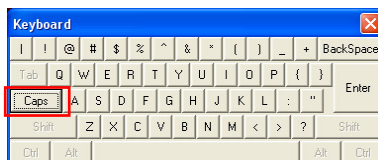
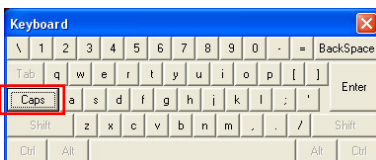


セキュリティ上、いくつかの機能についてはユーザーID およびパスワードの入力が必要となります。Authorization (認証) ダイアログボックスが表示されたら、User ID (ユーザーID) および Password (パスワード) を入力してください。(初めてこの認証作業を行う場合は、ソフトウェアをインストールした時のものを入力してください。)

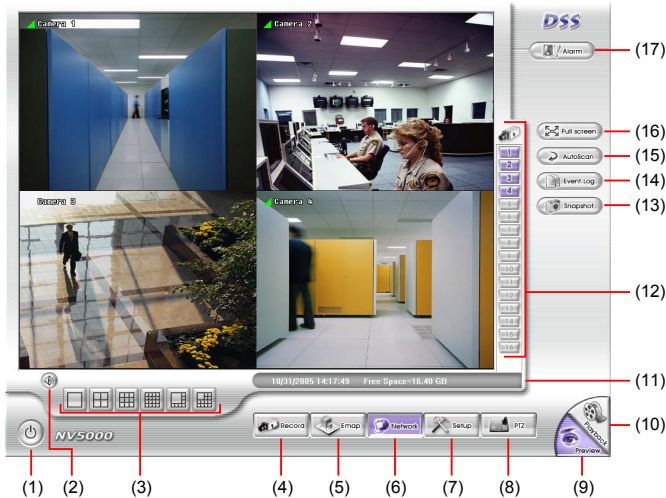


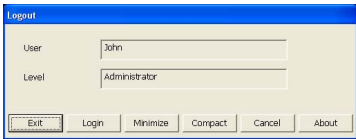
### 4.2 スクリーンキーボードを使用する


通常のキーボードを使用できない場合は、スクリーンキーボードを使用することができます。  をクリックすると、スクリーンキーボードが表示されます。キーを数字から記号、および小文字から大文字に変更するには、  をクリックします。



## 4.3 プレビュー/アドバンスドモードのボタンについて



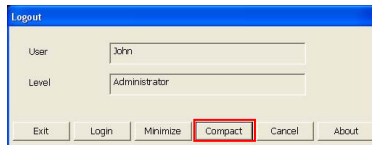
名称	機能
(1) 終了	<p>Logout (ログアウト) ダイアログボックスを呼び出します。ログアウトダイアログボックスでは、以下の操作が可能です。</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>- <b>Exit (終了)</b> をクリックすると、NV DVR プログラムを終了します。</li> <li>- <b>Login (ログイン)</b> をクリックすると、別のアカウントでサインインすることができます。</li> <li>- <b>Minimize (最小化)</b> をクリックすると、NV DVR を最小化してタスクバーボタンに表示します。</li> <li>- <b>Compact (コンパクト)</b> をクリックすると、コンパクトモードに切り換わります (<a href="#">Chapter 4.4</a>を参照してください)。</li> <li>- <b>Cancel (キャンセル)</b> をクリックすると、ダイアログを終了します。</li> <li>- <b>About (バージョン)</b> をクリックすると、パッチのアップデートあるいはソフトウェア情報を入手できます。</li> </ul>
(2) 音量	音量を調整します。

名称	機能
(3) 画面分割モード	6種類の画面分割形式から選択でき、1つの画面上にすべてのカメラの映像を表示したり、あるいは1台のカメラを他のカメラより大きく表示したり、並行表示したりすることができます。また、別のカメラ番号に切り換えて表示することもできます。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>- カメラが4台のみ接続されている場合は、9、16、13分割画面モードに切り換えることはできません。</li> <li>- 1画面モードの場合は、拡大したいエリアで <b>Right Click (右クリック)</b> して正方形を <b>Drag (ドラッグ)</b> すると拡大することができます。</li> <li>- 複数画面モードの場合は、カメラの映像画面を <b>Right Click (右クリック)</b> して移動したい場所に <b>Drag (ドラッグ)</b> することができます。複数画面モードで1つのビデオ映像のみを表示したい場合は、表示したいビデオ画面を <b>Left Click (左クリック)</b> します。</li> </ul>
(4) Record (録画)	ビデオ録画を開始/停止します。
(5) Emap (電子地図)	各エリアの地図、カメラ/センサー/リレーの位置および警告イベントを表示します (第4.7章を参照してください)。
(6) Network (ネットワーク)	遠隔地からのシステムアクセスを有効/無効にします。この機能により、遠隔地からインターネット接続を通じて NV DVR サーバーにアクセスすることができます (第8章を参照してください)。
(7) Setup (設定)	システム設定を設定します (第5章を参照してください)。
(8) PTZ	PTZ コントロールパネルにアクセスします (第4.6章を参照してください)。
(9) Preview (プレビュー)	Preview (プレビュー) /Advanced (アドバンスド) モードに切り換えます。この機能により、ライブカメラ映像を表示することができます。
(10) Playback (再生)	Playback (再生) モードに切り換えます。この機能により、録画したビデオファイルを表示することができます (第4.5章を参照してください)。
(11) ステータスバー	現在の日付、時間、およびハードディスクの空き容量を表示します。
(12) カメラ ID	現在表示しているカメラの番号を表示します。1画面モードの場合は、カメラを切り換えて表示するには、カメラの ID 番号をクリックします。
(13) Snapshot (スナップショット)	スクリーンショット (画面全体の画像) をキャプチャし、*.jpg あるいは*.bmp 形式で保存します。


名称	機能
(14) Event log (イベントログ)	システムで発生した動作記録（履歴）を表示します。記録（履歴）をフィルターするには、Event（イベント）、System（システム）、Operation（操作）、Network（ネットワーク）、POS のいずれかを表示するオプションボタンを選択してクリックします。
(15) AutoScan (オートスキャン)	ビデオ画面切替循環を Start/Stop（開始/停止）します。（第 5.1 章の（7）オートスキャン間隔を参照してください）。
(16) Full screen (全画面)	スクリーン全体にビデオ映像のみを表示します。元の表示モードに戻るには、マウスを右クリックするか、キーボードの ESC キーを押してください。複数画面モード時にフルスクリーンに切り換えた場合は、左クリックすると、複数画面モードで 1 つのビデオ映像のみを表示/すべてのビデオを表示のいずれかに切り換えることができます。
(17) Alarm (アラーム)	警告を発して警告情報を表示します。アラームのリセット/オン/オフ、およびセンサーリスト/リレーリストの項目を右クリックしてセンサー/リレーを作動させる機能は、管理者レベルにおいてのみ実行可能です。

#### 4.4 コンパクトモードのボタンについて

コンパクトモードで表示するには、まず **Exit（終了）** ボタンをクリックします。Logout（ログアウト）ダイアログボックスで **Compact（コンパクト）** をクリックします。






名称	機能
(1) 画面分割モード	6種類の画面分割形式から選択でき、1つの画面上にすべてのカメラの映像を表示したり、あるいは1台のカメラを他のカメラより大きく表示したり、並行表示したりすることができます。
 <ul style="list-style-type: none"> <li>- カメラが4台のみ接続されている場合は、9、16、13分割画面モードに切り換えることはできません。</li> <li>- 1画面モードの場合は、拡大したいエリアで <b>Right Click (右クリック)</b> して正方形を <b>Drag (ドラッグ)</b> すると拡大することができます。</li> <li>- 複数画面モードの場合は、カメラの映像画面を <b>Right Click (右クリック)</b> して移動したい場所に <b>Drag (ドラッグ)</b> することができます。複数画面モードで1つのビデオ映像のみを表示したい場合は、表示したいビデオ画面を <b>Left Click (左クリック)</b> します。</li> </ul>	
(2) AutoScan (オートスキャン)	ビデオ画面切替循環を開始/停止します。
(3) Alarm (アラーム)	警告を発して警告情報を表示します。
(4) Playback (再生)	Playback (再生) モードに切り換えます。この機能により、録画したビデオファイルを表示することができます (Chapter 4.5を参照してください)。
(5) Advanced (アドバンスド)	Preview (プレビュー) /Advanced (アドバンスド) モードに切り換えます。

## 4.5 再生モードのボタンについて

再生モードに切り換えるには、Advanced（アドバンスド）/Preview（プレビュー）モードのユーザーインターフェース右下にある **Playback（再生）** ボタンをクリックします。



名称	機能
(1) 画面分割モード	6種類の画面分割形式から選択でき、1つの画面上にすべてのカメラの映像を表示したり、あるいは1台のカメラを他のカメラより大きく表示したり、並行表示したりすることができます。
(2) プログレ スパー	現在再生しているファイルの進行状況を表示します。バーを移動させて、そのトラックの任意の再生位置を探すこともできます。
(3) 時間ボタ ン	任意の時間をクリックして、特定の時間枠の録画ビデオファイルを再生することができます。
<b>i</b>	時間ボタンは、24時間制による時間を表します。時間ボタンの上に表示される青いバーは、その時間帯に録画されたビデオファイルが存在することを表します。赤いバーは、現在再生中の録画ビデオファイルを表します。

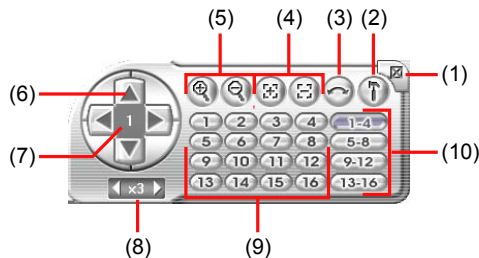
名称	機能
(4) 再生コントロールボタン	<p><b>Begin (最初に戻る)</b>: 録画ビデオファイルの最初に移動します。</p> <p><b>Previous (コマ戻し)</b>: 1 つ前のフレームに戻ります。</p> <p><b>Slower (スロー再生)</b>: 録画ビデオファイルを 1/2 倍速、1/4 倍速、1/8 倍速で再生します。</p> <p><b>Rewind (巻戻し)</b>: 録画ビデオファイルを巻き戻します。</p> <p><b>Pause (一時停止)</b>: 録画ビデオファイルを一時的に停止します。</p> <p><b>Play (再生)</b>: 録画ビデオファイルを再生します。</p> <p><b>Faster (高速再生)</b>: 録画ビデオファイルを 2 倍速、4 倍速、8 倍速で再生します。</p> <p><b>Next (コマ送り)</b>: 次のフレームに進みます。</p> <p><b>End (最後に進む)</b>: 録画ビデオファイルの終わりに移動します。</p>
(5) Date (日時)	録画ビデオファイルの再生を開始する日付をカレンダーから、時間を 00～23 から選択します。
 00～23 までの数字は、24 時間制による時間を表します。01～16 までの数字は、カメラ ID を表します。青い欄は、その時間帯に録画されたビデオファイルが存在することを表します。赤い欄は、録画ビデオファイルの再生開始位置を表します。	
(6) Preview (プレビュー)	Preview (プレビュー) /Advanced (アドバンスド) モードに切り換えます。
(7) Playback (再生)	Playback (再生) モードに切り換えます。この機能により、録画したビデオファイルを表示することができます。
(8) ステータスバー	録画した日付、時間、および再生速度を表示します。
(9) カメラ ID	現在表示しているカメラの番号を表示します。1 画面モードの場合は、カメラを切り換えて表示するには、カメラの ID 番号をクリックします。
(10) Output (出力)	分割 (セグメント化) したファイルを、*. mpg / *. avi / *. dvr 形式で保存します ( <a href="#">Chapter 4.8</a> を参照してください)。
(11) Segment (セグメント)	録画ビデオの任意の部分を保存します ( <a href="#">Chapter 4.8</a> を参照してください)。
(12) Print (印刷)	スクリーンショット (画面全体の画像) を印刷します。
(13) Snapshot (スナップショット)	スクリーンショット (画面全体の画像) をキャプチャし、*. jpg あるいは*. bmp 形式で保存します。



名称	機能
(14) Full screen (全画面)	Playback-compact (再生-コンパクト) モードで表示します。元の表示モードに戻るには、マウスを <b>Right (右)</b> クリックするか、キーボードの <b>ESC</b> キーを押してください。複数画面モード時にフルスクリーンに切り換えた場合は、 <b>Left (左)</b> クリックすると、複数画面モードで1つのビデオ映像のみを表示/すべてのビデオを表示のいずれかに切り換えることができます。
(15) Event log (イベントログ)	システムで発生した動作記録(履歴)を表示します。記録(履歴)をフィルターするには、Event (イベント)、System (システム)、Operation (操作)、Network (ネットワーク)、POS のいずれかを表示するオプションボタンを選択してクリックします。
(16) Bookmark (ブックマーク)	録画ビデオファイルのプレビュー時、後ほど参照する時のために参照点を付けます。また、ファイルを保護するよう設定することもできます ( <a href="#">Chapter 4.9</a> を参照してください)。
(17) Visual Search (ビジュアル検索)	特定のカメラの画像を、日、時、分、10 秒単位で検索することができます ( <a href="#">Chapter 4.10</a> を参照してください)。
(18) Find Next (次を検索)	モーションディテクタ (動作検知機能) フレームで、次のイベントあるいは変化を検索します。この機能は、Intelligent Search (インテリジェント検索) あるいは Event Search (イベント検索) 実行時に限り使用できません。
(19) Event Search (イベント検索)	システム内で発生した録画済のアクティビティ (すなわち Sensor (センサー)、Motion (動き)、Video Loss (ビデオ無信号)、POS) のの中から検索します ( <a href="#">Chapter 4.11</a> を参照してください)。
(20) インテリジェント検索	モーションディテクタ (動作検知機能) フレームで、変化を検索します ( <a href="#">Chapter 4.12</a> を参照してください)。

## 4.6 PTZ カメラコントローラーのボタンについて

(第 4.13 章を参照してください)



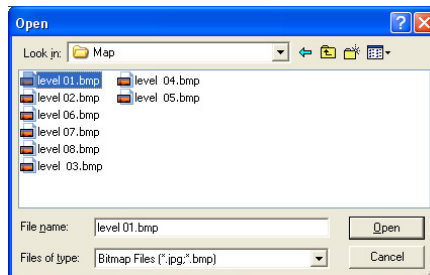
名称	機能
(1) 閉じる	PTZ カメラコントローラを終了します。
(2) 設定	PTZ カメラを設定します。
(3) オートパン	PTZ カメラを、選択したカメラグループのプリセット位置番号に基づいて自動的に作動させます。
(4) フォーカス+/-	カメラのピントを手動調整して画像をクリアに表示します。
(5) ズーム+/-	画像を拡大/縮小します。
(6) 方向ボタン	PTZ カメラの焦点を調整し、位置を決定します。
(7) カメラ ID ウィンドウ枠	現在操作している PTZ カメラの番号を表示します。
(8) カメラレンズ速度コントローラ	PTZ カメラレンズの移動速度を調整します。
(9) カメラのプリセット位置番号	PTZ カメラをプリセットポイントに移動させます。
(10) グループオートパン	これを選択すると、PTZ カメラをグループで自動操作します。

## 4.7 E マップ（電子地図）の設定と使用方法

E マップ（電子地図）は、最大 8 件の地図を\*. bmp/\*. jpg 形式で保存することができます。地図上にカメラ、センサー、リレーを配置することも可能です。

### 4.7.1 E マップ（電子地図）を設定するには

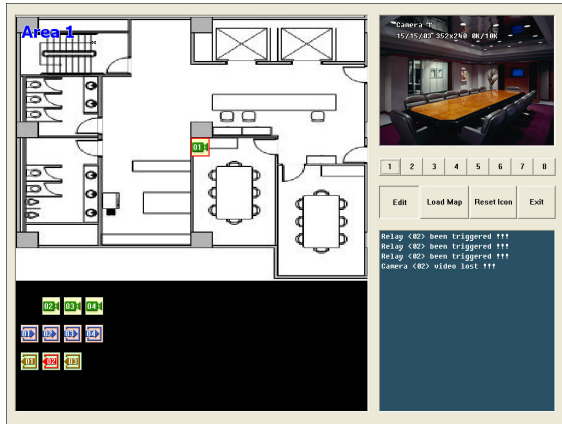
1. E マップ（電子地図）をクリックします。
2. E マップ画面が表示されたら、地図を挿入しようとするエリア番号（1～8 までのボタン）をクリックします。
3. Load Map（地図のロード）をクリックして地図を挿入します。Open（開く）ダイアログボックスが表示されたら、地図を参照して選択し、Open（開く）をクリックします。



4. 挿入した地図が E マップ画面に表示されたら、**Edit（編集）**をクリックします。ここで、カメラ/センサー/リレー機器のアイコンを、地図上のそれぞれの位置にドラッグすることができます。地図上のアイコンは、あらゆる場所に移動できます。

地図上のアイコンを他のエリアに置きたい場合は、まずアイコンをEマップ画面の下部にある黒いウィンドウ枠にドラッグし、次にアイコンを置こうとするエリアに切り換えます。

すべてのアイコンをEマップ画面の下部にある黒いウィンドウ枠に戻すには、**Reset Icon (アイコンのリセット)** をクリックします。

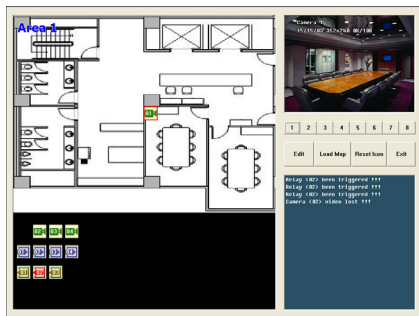


- 完了したら、**Edit (編集)** ボタンをクリックして新しい設定を保存します。Eマップ画面を閉じるには、**Exit (終了)** をクリックします。

#### 4.7.2 Eマップ (電子地図) を使用するには

Eマップ (電子地図) の使用方法:

- Eマップ (電子地図) をクリックします。
- Eマップ画面でカメラアイコンをクリックすると、地図上でカメラアイコンが置かれているエリアに切り換わり、Eマップ画面右上のウィンドウ枠に映像を表示します。Eマップ画面右下のウィンドウ枠には、警告メッセージが一覧表示されます。



- Eマップ画面を閉じるには、**Exit (終了)** をクリックします。

## 4.8 録画ビデオの任意部分をカットして保存するには

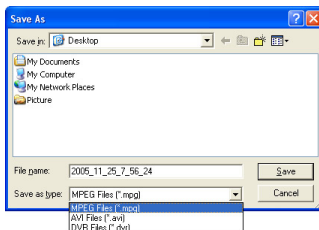
1. 再生コントロールボタンを使って、あるいは再生プログレスバーをドラッグして、カット開始位置で一時停止します。次に、**Segment**（セグメント）をクリックして、開始マークを設定します。



2. 再生コントロールボタンを使って、あるいは再生プログレスバーをドラッグして、カット終了位置で一時停止します。次に、**Segment**（セグメント）をクリックして終了マークを設定します。セグメント設定をキャンセルする、あるいはセグメントマークを初めから設定するには、もう一度 **Segment**（セグメント）ボタンをクリックします。



3. クリップを保存するには **Output**（出力）ボタンをクリックします。
4. **Save As**（名前を付けて保存）ダイアログボックスで、ファイルの保存先の決定、ファイル名の入力、ビデオ保存形式の選択を行います。



## 4.9 ビデオの任意セクションをブックマークするには

1. **Bookmark**（ブックマーク）をクリックします。ブックマークボタンを実行すると、ビデオ再生が停止します。
2. **Bookmark**（ブックマーク）ダイアログボックスでは、以下の操作が可能です。
  - **Add**（追加）をクリックすると、新しい参照マークをブックマークリストに加えることができます。ファイル保護の有効/無効を選択することもできます。
  - **Edit**（編集）をクリックすると、マークについての説明を変更あるいはファイルの保護を有効/無効にすることができます。
  - **Delete**（削除）をクリックすると、リスト内の参照マークを選択して削除することができます。
  - **Delete All**（すべて削除）をクリックすると、リストにある参照マークをすべて削除することができます。
  - **Exit**（終了）をクリックすると、**Bookmark**（ブックマーク）ダイアログボックスが閉じます。

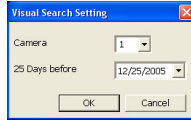




ブックマークが保護されている場合は、ファイルを上書きすることはできません。

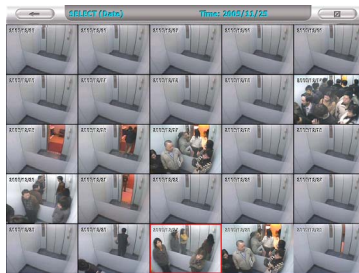
3. ブックマークリストから任意のファイルをクリックすると、そのファイルをプレビューすることができます。

## 4.10 ビジュアル検索機能を使用して画像を検索するには


1. Visual Search (ビジュアル検索) をクリックします。
2. Visual Search Setting (ビジュアル検索設定) ダイアログボックスで、カメラ番号および日付を選択します。次に、OK をクリックします。



3. 選択した日付における一連のフレームが表示されたら、任意のフレームをクリックするとさらに別のフレームが表示され、その日の各時間、その時間の毎分、その分の毎10秒、その10秒の毎秒単位で検索することができます。前に戻るには、 をクリックします。選択したフレームを表示し、ビジュアル検索を閉じるには、 をクリックします。



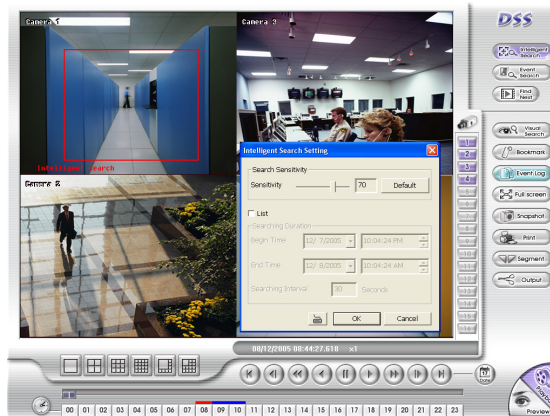
## 4.11 イベント検索機能を使用して画像を検索するには

1. 検索しようとするビデオ画面をクリックします。
2. Event Search (イベント検索) をクリックします。画面左下に、赤字で Event Search (イベント検索) と表示されます。
3. Event Search Setting (イベント検索設定) ダイアログボックスで、検索条件を選択します。POS を選択した場合は、Find Text (文字検索) ボックスに文字を入力します。OK をクリックすると検索が開始します。設定した検索条件に一致するフレームを発見すると、ビデオ検索が停止します。検索を続けるには、 をクリックします。
4. また、すべての検索結果を一覧表示するように設定することもできます。Output Event List (イベントリストの出力) ボックスにチェックを入れます。Search Duration (検索期間) 欄で、Begin Time (開始時間)、End Time (終了時間)、Searching Interval (検索間隔) を設定します。OK をクリックすると検索が開始します。
5. Event List (イベントリスト) が表示されたら、任意のイベントを選択して表示することができます。

## 4.12 インテリジェント検索機能を使用して画像を検索するには

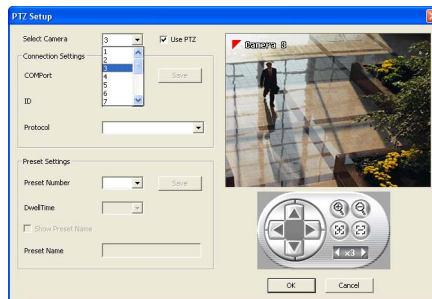
1. 検索しようとするビデオ画面をクリックします。
2. Intelligent Search (インテリジェント検索) をクリックします。画面左下に、赤字で Intelligent Search (インテリジェント検索) テキストと表示されます。

- Intelligent Search Setting（インテリジェント検索設定）ダイアログボックスおよびモーションディテクタ（動作検知機能）フレームが表示されると、検知感度バーおよびモーションディテクタ（動作検知機能）フレームのサイズや位置を調整することができます。モーションディテクタ（動作検知機能）フレームのサイズや位置を設定するには、画面上を左クリックしてドラッグします。**OK**をクリックすると検索が開始します。設定した検索条件に一致するフレームを発見すると、ビデオ検索が停止します。検索を続けるには、**Find Next** をクリックします。
- また、すべての検索結果を一覧表示するよう設定することもできます。**List**（リスト）ボックスにチェックを入れます。Search Duration（検索期間）欄で、**Begin Time**（開始時間）、**End Time**（終了時間）、**Searching Interval**（検索間隔）を設定します。**OK** をクリックすると検索が開始します。

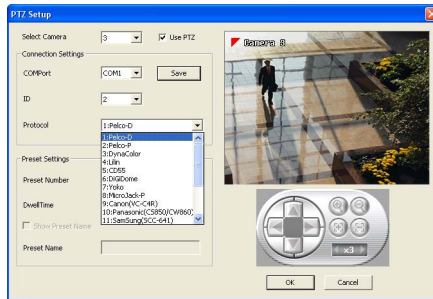


#### 4.13 PTZ カメラを設定するには

- PTZ コントロールパネルで、**Setup**（設定）をクリックします。
- PTZ Setup（PTZ の設定）ダイアログボックスが表示されたら、カメラ番号を選択し、**Use PTZ**（PTZ を使用する）にチェックを入れます。




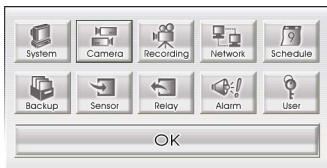
3. Connection Settings（接続設定）欄で、PTZ カメラが接続されている COM ポート、PTZ ID 番号、および PTZ カメラモデルを選択します。次に、**Save（保存）** をクリックして設定を保存します。



4. PTZ コントロールパネルを使用して PTZ カメラの位置を調整します。
5. Preset Setting（プリセット設定）欄で、PTZ カメラの現在の位置に割り当てる Preset Number（プリセット番号）を選択します。DwellTime（滞留時間）で、PTZ カメラが次の位置へ移動するまでの時間（1～60 秒）を設定します。記述を追加したい場合は、**Show Preset Name（プリセット名を表示する）** ボックスにチェックを入れ、**Preset Name（プリセット名）** 入力欄に文字を入力します。次に、**Save（保存）** をクリックして設定を保存します。
6. さらに別の PTZ カメラ位置を保存する場合は、手順 4 および 5 を繰り返します。
7. 次に、**OK** をクリックして設定を保存します。設定を保存せずに終了したい場合は **Cancel（キャンセル）** をクリックします。

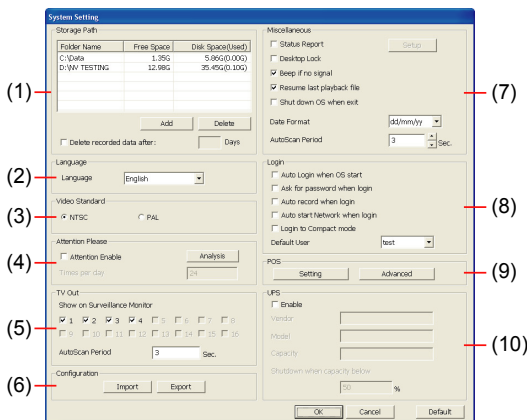
## 第5章 NV DVR システムのカスタマイズ

ご使用の NV DVR をカスタマイズするには、Preview (プレビュー) /Advanced (アドバンスド) 画面モードで  ボタンをクリックします。NV DVR コンフィギュレーション設定選択画面が表示されたら、変更しようとする設定をクリックします。



### 5.1 システム設定

System Setting (システム設定) ダイアログボックスで、新しい設定を保存するには **OK** を、あるいは保存せずに終了するには **Cancel** (キャンセル) を、工場出荷時設定に戻すには **Default** (デフォルト) をクリックします。



#### (1) Storage Path (保存先)

データを保存するディレクトリを設定します。1 時間分のデータを録画するために必要な空き容量が足りない場合、システムは自動的に最も古いデータと置き換えます。保存先を複数設定している場合は、システムは自動的に次の保存先にデータを保存します。

デフォルトでは、データは C:\Data に保存されます。別の保存先を設定するには、**Add** (追加) をクリックします。選択した保存先を削除するには、**Delete** (削除) をクリックします。

データを任意の日数が経過後自動的に消去するには、**Delete recorded data after** (次の日数経過後、録画データを削除する) チェックボックスにチェックを入れて有効にし、**Days** (日数) 入力欄に日数を入力します。

#### (2) Language (言語)

ツールチップおよびダイアログに表示される言語を選択します。デフォルト設定は English (英語) です。



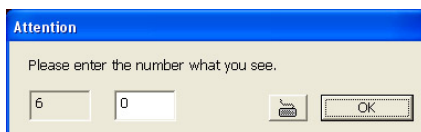
**(3) Video Standard (ビデオ方式)**

ご使用のカメラのビデオ方式に応じて、適切なビデオ方式を選択します。ビデオ方式が正しく設定されていない場合は、映像が正常に表示されません。

**(4) Attention Please (アテンションブリーズ)**

システムをモニタしている人員の注意度をチェックします。1日あたりの Attention (アテンション) ダイアログボックス表示回数を、**Times per day (1日あたりの表示回数)** 入力欄で設定することができます。**Analysis (分析)** をクリックすると、モニター人員の応答速度をグラフで確認することができます。

この機能を有効にすると、**Attention (アテンション)** ダイアログボックスが表示されます。システムをモニターしている人員は、左側の欄に表示される数字と同じ数字を右側の入力欄に入力し、**OK** をクリックします。

**(5) TV Out (TV 出力)**

TV に映像を表示させたいカメラを選択し、次のカメラに切り換えるまでの時間間隔を 3～10 秒から選択します。

**(6) Configuration (コンフィギュレーション)**

全設定のコピーをバックアップし、同一の設定を回復することができます。現在の設定を保存するには、**Export (エクスポート)** をクリックします。以前保存した設定に置き換えるには、**Import (インポート)** をクリックします。

**(7) Miscellaneous (その他の設定)**

**Miscellaneous (その他の設定)** 欄にある以下の機能を有効にすると、自動的に実行することができます。

- **Status Report (ステータスレポート)**  
システムイベントレポートを毎日送信します。電子メールの設定を変更するには、**Setup (設定)** をクリックします。
- **Desktop Lock (デスクトップロック)**  
キーボードの [Ctrl+Alt+Del] および [Windows] キー操作を無効にします。
- **Beep if no signal (無信号アラーム)**  
ビデオ信号が失われた場合、警告音を鳴らします。
- **Resume last playback file (最後の再生ファイルから再生を再開する)**  
自動的に最後の時間からビデオの再生を再開します。
- **Shutdown OS when exit (終了時 OS を閉じる)**  
NV DVR アプリケーションを終了すると同時に PC の電源を切ります。
- **Date Format (日付フォーマット)**  
適切な形式を選択します。
- **AutoScan Period (オートスキャン周期)**  
オートスキャンの時間間隔を 3～10 秒から選択します。ここで設定した間隔で自動的に次のビデオへと切り換えます。

## (8) Login (ログイン)

Login (ログイン) 欄にある以下の機能を有効にすると、自動的に実行することができます。

- **Auto Login when OS start (OS 開始時に自動的にログインする)**  
オペレーティングシステム起動時に NV DVR を実行します。
- **Ask for password when login (ログイン時にパスワードを要求する)**  
NV DVR 起動時、毎回ユーザー ID およびパスワードを入力するよう要求します。
- **Auto record when login (ログインと同時に録画を開始する)**  
NV DVR 起動時に、自動的にビデオ録画を開始します。
- **Login to compact mode (コンパクトモードでログインする)**  
NV DVR 起動時に、自動的にコンパクトモードに切り換わります。
- **Default user (デフォルトユーザー)**  
NV DVR 起動時に、自動的にデフォルトユーザーでログインします。

## (9) POS

POS装置からのデータを表示するカメラ画面を設定します。**Setting (設定)** をクリックして、POS Console Setting (POSコンソール設定) を設定します。テキストフローと色の形式を設定するには、**Advanced (アドバンスド)** をクリックします ([Chapter 5.1.1](#)を参照してください)。

## (10) UPS (無停電電源装置)

システムを電力サージ (電圧の急激な変化) あるいは電力供給の一時停止などの危機的な出来事から保護します。この機能により、非常用電源が **Shutdown when capacity below (容量が次の値以下になったらシャットダウンする)** で設定した値に達した場合に、NV DVR を安全に終了する時間を確保できます。

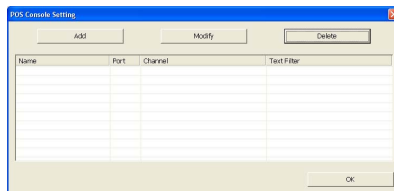
UPS装置は、必ずPCに接続する必要があります (UPSの取扱説明書を参照してください)。



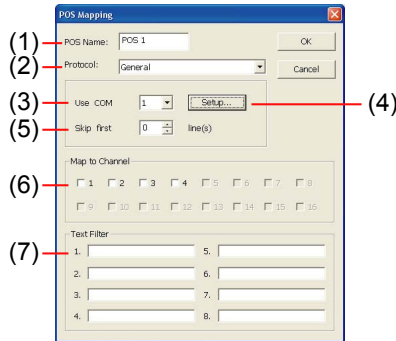
UPS アプリケーションは、Windows 2000 あるいは Windows XP のシステム要件を満たす必要があります。

### 5.1.1 POS セットアップを設定するには

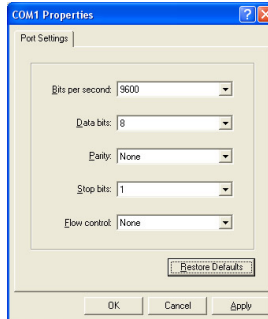
1. System Setting (システム設定) ダイアログボックスで、POS セクションの Setting (設定) をクリックします。テキストフローと色の形式を設定するには、Advance (アドバンスド) をクリックします。
2. POS Console Setting (POS コンソール設定) ダイアログボックスで、新しい POS 設定をするには Add (追加) を、変更するには Modify を、削除するには Delete (削除) をクリックします。新しい設定の保存と POS Console Setting (POS コンソール設定) を終了するには OK をクリックします。



3. POS Mapping (POS マッピング) ダイアログボックスで、新しい設定を保存するには **OK** を、あるいは保存せずに終了するには **Cancel** (キャンセル) をクリックします。



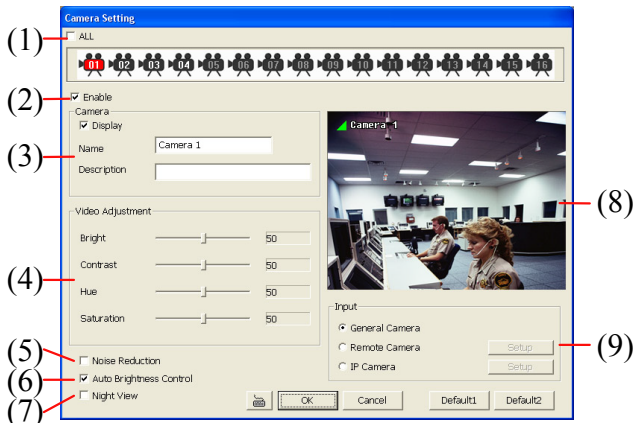
- (1) **POS Name (POS名)** : POS名を入力します。  
 (2) **Protocol (プロトコル)** : エプソンと互換性を持つプリンターの場合は“General”を選び、その以外は“TP\_3688”を選びます。  
 (3) **Use COM (COM の使用)** : 接続してる COM ポートナンバーを選びます。  
 (4) **Setup... (ポート設定)** : COM プロパティを設定します。もしわからない場合は、POS を購入された販売店までお問い合わせください。



- (5) **Skip first (スキップ)** : 削除したい行数を設定します。  
 (6) **Map to Channel (表示するチャンネル)** : トランザクションテキストを表示するカメラのナンバーを選びます。  
 (7) **Text Filter (テキストフィルター)** : 削除したい字を入力します。

## 5.2 カメラ設定

Camera Setting (カメラ設定) ダイアログボックスで、新しい設定を保存するには **OK** を、あるいは保存せずに終了するには **Cancel** (キャンセル) を、工場出荷時設定に戻すには **Default1/ Default2** (デフォルト 1/デフォルト 2) をクリックします。



#### (1) カメラアイコン

ビデオ設定を変更したいカメラの番号を選択します。すべてのカメラを選択するには、**ALL (全部)** にチェックを入れます。複数のカメラを選択するには、カメラアイコンを **Right Click (右クリック)** します。1 台のカメラのみを選択するには、カメラアイコンを **Left Click (左クリック)** します。選択したカメラアイコンは赤色で表示されます。

#### (2) Enable (有効にする)

選択したカメラを有効/無効に設定します。ビデオ入力源がないカメラについては、システムが無信号エラーとして検出することを防ぐため、無効に設定することを推奨します。

#### (3) Camera (カメラ)

##### - Display (表示)

ビデオ表示を有効/無効にします。選択したカメラのビデオ表示を無効に設定した場合でも、ビデオの録画および再生モードでのプレビューが可能です。

##### - Name (カメラ名)

カメラの名前を変更します。

##### - Description (説明)

短いコメントを入力します。

#### (4) Video Adjustment (画質調整)

選択したカメラの Brightness (明るさ)、Contrast (コントラスト)、Hue (色合い)、Saturation (彩度) を調整します。

#### (5) Noise Reduction (ノイズリダクション)

望ましくないビデオ信号を低減し、ビデオ画質を向上させます。



ノイズリダクション機能は、CPU リソースを大量に消費します。この機能は、絶対に必要な場合に限り使用してください。

**(6) Auto Brightness Control (明るさ自動制御)**

明るさを自動的に調整します。

**(7) Night View (ナイトビュー)**

自動的に露出を補正し、特に監視エリアが暗い状況時に画像をより見やすくします。この機能は、Auto Brightness Control (明るさ自動制御) を有効に設定している場合に限り使用できます。

**(8) Video Screen (ビデオ画面)**

選択したカメラのビデオ映像を表示します。

**(9) Input (入力)**

現在使用しているビデオカメラ入力の種類を選択します。

- **General Camera (通常のカメラ)**

ビデオ映像を、直接 NV シリーズ PCI カードに接続したカメラから入力している場合に選択します。

- **Remote Camera (遠隔カメラ)**

ビデオ映像を、他の NV DVR サーバーから入力している場合に選択します。Remote DVR (遠隔 DVR) ダイアログボックスで、サーバーIP、ポート番号、ユーザーID、パスワードを入力し、カメラ番号を選択してください。

サーバーIP およびポートが分からない場合は、Network Setting (ネットワーク設定) で NV DVR のサーバーIP アドレスを確認してください。

- **IP Camera (IP カメラ)**

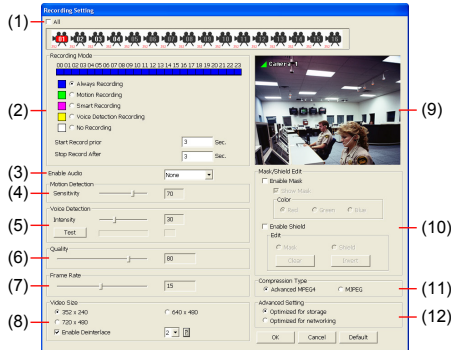
ビデオ映像を、ネットワークカメラあるいは IP カメラから入力している場合に選択します。IP Camera Settings (IP カメラ設定) ダイアログボックスで、接続時にプロトコルあるいは URL のいずれを使用するかを選択し、必要な情報を入力してください。ユーザー認証が必要な場合は、

**Authentication (認証)** チェックボックスにチェックを入れて有効にし、ユーザーID とパスワードを入力します。

プロトコルあるいは URL 情報が不明な場合は、IP カメラの取扱説明書を参照するか、IP カメラを購入された販売店までお問い合わせください。

### 5.3 録画設定

Recording Setting (録画設定) ダイアログボックスで、新しい設定を保存するには **OK** を、あるいは保存せずに終了するには **Cancel** (キャンセル) を、工場出荷時設定に戻すには **Default** (デフォルト) をクリックします。



#### (1) カメラアイコン

録画設定を設定しようとするカメラ番号を選択します。すべてのカメラを選択するには、**ALL (全部)** にチェックを入れます。複数のカメラを選択するには、カメラアイコンを **Right Click (右クリック)** します。1 台のカメラのみを選択するには、カメラアイコンを **Left Click (左クリック)** します。選択したカメラアイコンは赤色で表示されます。

#### (2) Recording Mode (録画モード)

00~23 のブロックは、24 時間制による時間を表します。24 時間すべて録画するには、録画モードを選択して **◎** ボタンをクリックします。特定の時間のみ録画したい場合は、各録画モードの左側にある色ブロックをクリックし、次に時間ブロックをクリックします。システムが録画を開始すると、画面左上に赤い三角マークが表示されます。録画モードは以下のとおりです。

##### - Always Recording (連続録画)

選択したカメラからのビデオ映像を録画し、指定した保存先に保存します (第 5.1 章の (1) を参照してください)。

##### - Motion Recording (動作検知録画)

システムが動きを検知した場合に限り、選択したカメラのビデオ映像の録画を開始します。動きを検知すると、動きを検知する前のフレームを **Start Record Prior (次の秒数前から録画開始)** の設定に応じて自動的に保存し、動き停止後、**Stop Record After (次の秒数後録画停止)** 設定に応じて録画を停止します。

##### - Smart Recording (スマート録画)

動きが検知されないときは、フレームレートを 1 秒あたり 1 フレームに減らして録画します。動きを検知すると、システムは自動的に (7) **Frame Rate (フレームレート)** で設定したレートで録画します。

##### - No Recording (録画しない)

システムは録画を行いません。

**(3) Enable Audio (音声を有効にする)**

選択したカメラに音声チャンネルを割り当てることができます。1 台のカメラに 1 つの音声チャンネルのみを割り当てることができます。ここで音声の有効に設定することで、音声と映像を同時に録音・録画できます。



この機能を使用するには、I/O オーディオカードが必要となります。

**(4) Motion Detection (動作検知)**

モーションディテクタ (動作検知機能) の検知感度を調整します。数値を上げると、より高い感度で動きを検知します。動きを検知すると、画面左上に緑の三角マークが表示されます。

**(5) Voice Detection (音声検知)**

音声ディテクタ (音声検知機能) の検知強度を調整します。音声の強さがここで設定した値を超えた場合、システムが検知します。

**(6) Quality (画質)**

ビデオ映像の画質を調整します。数値を上げると、圧縮率が下がり、より多くのハードディスク容量を使用します。

**(7) Frame Rate (フレームレート)**

1 秒間に録画するビデオ映像の画像数を設定します。設定可能なフレームレートは、NTSC の場合は 1 から 30 まで、PAL の場合は 1 から 25 までです。フレームレートが高くなるにつれて使用するハードディスク容量も増加します。

**(8) Video Size (解像度)**

解像度を選択し、(ボタンをクリックします。このサイズが大きいくほど、作成されるファイルサイズも大きくなります。また、Enable Deinterlace (インターレース除去) を有効にして、画質を向上させることができます。Enable Deinterlace (インターレース除去) は、静止画像をキャプチャする場合は 1 番、動きの多い映像をキャプチャする場合は 2 番に設定します。

**(9) Video Screen (ビデオ画面)**

選択したカメラのビデオ映像を表示します。

**(10) Mask/Shield Edit (マスク/シールド編集)**

マスク機能を使うと、画面上の任意のエリアをマークすることができ、マークしたエリアの動きを無視してマークしていないエリアのみをモニターします。シールド機能を使うと、画面上の任意のエリアを隔離することができます。シールドしたエリアは画面上に表示されず、録画ファイル上においても表示されません (第 5.3.1 章および第 5.3.2 章を参照してください)。

**(11) Compression Type (圧縮方式)**

2 種類の圧縮方式から選択します。MPEG4 は、より高い圧縮率を使用し、ファイルサイズはより小さくなります。一方、MJPEG はより低い圧縮率を使用し、ファイルサイズはより大きくなります。

**(12) Advanced Setting (アドバンスド設定)**

ビデオ録画用、あるいはインターネットを通じたビデオ転送用に最適化するように設定します。

### 5.3.1 画面上の任意のエリアをマスク/シールドするには:

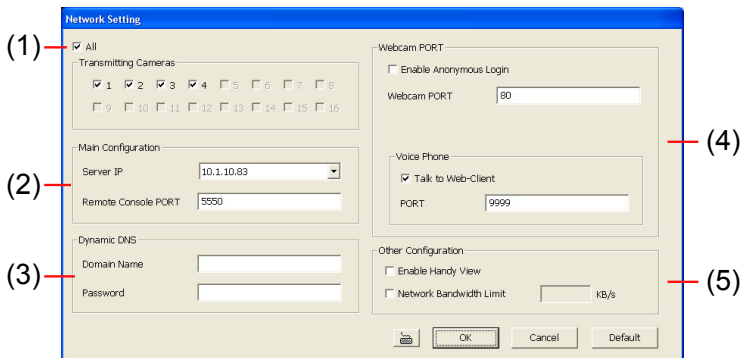
1. Mask/Shield Edit (マスク/シールド編集) 欄で、**Enable Mask** (マスクを有効にする) / **Enable Shield** (シールドを有効にする) にチェックを入れて有効に設定します。
2. Edit (編集) 欄で、Mask (マスク) あるいは Shield (シールド) を選択して○ボタンをクリックします。
3. (9) **Video Screen** (ビデオ画面) 上のフレームをクリックしてドラッグし、マスクあるいはシールドエリアを作成します。

### 5.3.2 マスクを表示しマスクの色を変更するには:

1. **Show Mask** (マスクを表示する) にチェックを入れます。
2. **Color** (色) 欄で、色を選択して○ボタンをクリックします。

## 5.4 ネットワーク設定

Network Setting (ネットワーク設定) ダイアログボックスで、新しい設定を保存するには **OK** を、あるいは保存せずに終了するには **Cancel** (キャンセル) を、工場出荷時設定に戻すには **Default** (デフォルト) をクリックします。



#### (1) Transmitting Cameras (送信カメラ)

Transmitting Camera (送信カメラ) 欄で、ウェブカメラ、遠隔コンソール、PDA Viewer (PDA ビューアー) および Hand Viewer (ハンドビューアー) (静止画像) を使用し、インターネットを通じてアクセスできるように設定したいカメラ番号をクリックします。すべてのカメラを選択するには、**ALL** (全部) にチェックを入れます。

#### (2) Main Configuration (メインコンフィギュレーション)

Server IP (サーバーIP) および Remote Console Port (遠隔コンソールポート) 番号を設定します。システムにより、自動的にユーザーのサーバーIPアドレスが検出されます。遠隔地からインターネット接続を通じて NV DVR サーバーにアクセスするには、これらを設定する必要があります。

#### (3) Dynamic DNS (ダイナミックドメイン名システム)

Domain Name (ドメイン名) および Password (パスワード) を入力します。この機能を使用するには、<http://ddns.avers.com.tw> で登録してください。CDのキー番号、



製品名、パスワード、ユーザー情報を入力するよう求められます。インターネットに接続する度にIPアドレスが変更される場合は、このサービスを使用してください。

#### (4) Webcam Port (ウェブカメラポート)

パスワードを入力せずに NV DVR サーバーに遠隔アクセスできるように設定するには、**Enable Anonymous Login (匿名ログインを有効にする)**を有効にします。クライアントとサーバーがマイクを使用してインターネットを通じて会話できる2-Way Talk (双方向会話) 機能を使用するには、**Talk to Web-Client (ウェブクライアントと会話する)**を有効にします。この機能を使用する前に、マイクとスピーカーが正常に機能していることを確認してください。

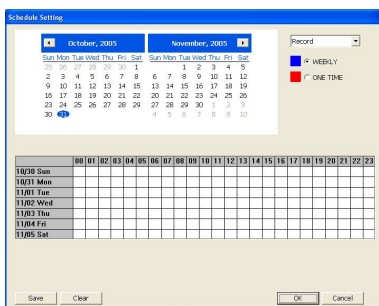
**Talk to Web-Client (ウェブクライアントと会話する)**を無効にしている場合は、WebCam (ウェブカメラ) の2-Way Talk (双方向会話) ボタンを有効にしても、NV DVR サーバー側の人員のみがクライアント側の音声を聴くことができます (第8.1章の(6)を参照してください)。

#### (5) Other Configuration (その他のコンフィギュレーション)

遠隔ユーザーがPDAあるいは携帯電話を使用して NV DVR サーバーにアクセスできるよう設定できます (第8.5章および第8.6章を参照してください)。また、Network bandwidth Limit (ネットワーク回線容量使用制限値) を設定できます。


## 5.5 スケジュール設定

すべてのカメラの録画、バックアップ、ネットワークを有効にする、再起動、アラームを無効にするといった機能を、毎週あるいは任意の時間に実行するよう設定できます。00~23 までの数字は、24 時間制による時間を表します。一番左側の列に曜日が表示されます。



**Schedule Setting (スケジュール設定) を設定するには:**

1. カレンダーから任意の日付を選択します。◀ / ▶ ボタンを使って、カレンダーを左右に移動できます。
2. ドロップダウンメニューから、スケジュールの設定項目を選択します。
  - **Record (録画)**  
設定した時間に、全カメラのビデオ録画を Recording Setting (録画設定) の設定に応じて開始します (第5.2章を参照してください)。
  - **Backup (バックアップ)**

全データのコピーを、設定した時間に指定したバックアップ先に保存します。NV DVR は自動的にデータを更新し、まだアーカイブに含まれていないデータのみをバックアップします。バックアップ先を指定するには、 をクリックします。



バックアップフォルダが保存フォルダと同一のドライブにないことを確認してください。

- **Enable Network (ネットワークを有効にする)**

設定した時間に、NV DVR 遠隔システムを作動させます。指定した時間経過後は、ネットワーク機能は無効になります。すでにネットワーク機能が有効であった場合は、指定した時間が経過してもネットワーク機能は無効になりません。

- **Reboot (再起動)**


指定した時間に PC を再起動します。



Windows オペレーティングシステムを、ログイン時にユーザー名およびパスワードを**要求しない**ように設定する必要があります。このように設定することで、システムが NV DVR プログラムを実行することができます。

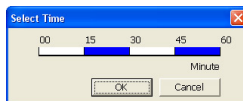
- **Disable Alarm (アラームを無効にする)**

指定した時間の間、アラームを一時的に無効にします。

3. スケジュールの設定を毎週あるいは1回限りのいずれかに決定し、 をクリックして選択します。
4. 任意のブロックをクリックしてスケジュールを設定します（第 5.5.1 章を参照してください）。設定を保存するには、**Save (保存)** をクリックします。設定を取り消すには、**Clear (クリア)** をクリックします。
5. Schedule Setting (スケジュール設定) を保存して終了するには **OK** を、設定を保存せずに終了するには **Cancel (キャンセル)** をクリックします。

### 5.5.1 スケジュールを任意の 1 時間の特定の時間ブロックに対して設定するには:

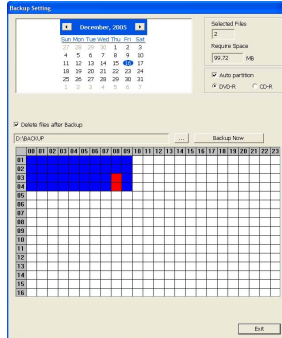
1. 色のついたブロックを **Right Click (右クリック)** します。
2. Select time (時間の選択) ダイアログボックスで、設定したい時間ブロックをクリックして有効/無効にします。






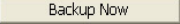
3. 設定を保存するには **OK** を、設定を保存せずに終了したい場合は **Cancel (キャンセル)** をクリックします。

## 5.6 バックアップ設定

Backup Setting (バックアップ設定) ダイアログボックスでは、00~23 の数字は、24 時間制による時間を表します。01~16 までの数字は、カメラ番号を表します。ファイルのバックアップ時は、Backup (バックアップ) フォルダにある QLogViewer および Player アプリケーションを使用できます（第 6 章を参照してください）。



ファイルをバックアップするには:

1. バックアップしようとする録画ファイルの日付をカレンダーから選択します。 /  ボタンを使って、カレンダーを左右に移動できます。
2. 下部にある表の青いブロックをクリックして録画ファイルを選択します。青いブロックは、選択すると赤色に変わります。白いブロックにはデータが含まれていません。特定の時間を指定するには、選択したブロックを右クリックします。次に、開始時間と終了時間を設定します。
3. カレンダー脇に表示される情報を確認します。  
**Selected Files** : 現在選択しているファイル数を表示します。  
**(選択済ファイル)**  
**Require Space** : 選択しているファイルの合計サイズを表示します。  
**(必要容量)**
4. Auto partition (自動パーティション) にチェックを入れて有効にし、ファイルの分割サイズを DVD-R 用あるいは CD-R 用から選択します。NV DVR は自動的にファイルをバックアップし、DVD あるいは CD ディスクへと容易に記録することができるようファイルサイズを分割します。
5. 録画ファイルを保存フォルダに**保存したくない場合は、Delete files after Backup (バックアップ完了後ファイルを削除する)** チェックボックスを有効にします。
6.  をクリックして、バックアップファイルの保存先を設定します。
7.  をクリックすると、選択したファイルのアーカイブ化を開始します。
8. **Exit (終了)** をクリックして、Backup Setting (バックアップ設定) ダイアログボックスを閉じます。

## 5.7 センサー設定

この機能を使用するには、I/O (入出力) 機器を取り付ける必要があります。

**Sensor Setting（センサー設定）を設定するには：**

1. ドロップダウンメニューをクリックして、センサーID 番号を選択します。
2. センサー名を入力します。
3. システムにより、自動的に Card No.（カード番号）および Input No.（入力番号）が入力されます。Content（内容）欄で、センサーに関する説明や情報を入力します。
4. Test（テスト）欄で、**Test（テスト）**をクリックしてセンサーの状態を確認します。Red（赤）はhigh（高）、Green（緑）はlow（低）を表します。
5. 設定を保存して終了するには **OK** を、設定を保存せずに終了するには **Cancel（キャンセル）** をクリックします。

## 5.8 リレー設定

この機能を使用するには、I/O（入出力）機器を取り付ける必要があります。

**Relay Setting（リレー設定）を設定するには：**

1. ドロップダウンメニューをクリックして、リレーID 番号を選択します。
2. リレー名を入力します。
3. システムにより、自動的に Card No.（カード番号）および Input No.（入力番号）が入力されます。Content（内容）欄で、リレーに関する説明や情報を入力します。
4. Test（テスト）欄で、**Test（テスト）**をクリックしてリレーを作動させます。Red（赤）はhigh（高）、Green（緑）はlow（低）を表します。

5. 設定を保存して終了するには **OK** を、設定を保存せずに終了するには **Cancel** (キャンセル) をクリックします。

## 5.9 アラーム設定

Alarm Setting (アラーム設定) ダイアログボックスで、新しいアラーム設定を入力して設定するには **Add** (追加) を、選択したアラーム設定を削除するには **Delete** (削除) を、新しい設定を保存して終了するには **OK** を、保存せずに終了するには **Cancel** (キャンセル) を、工場出荷時設定に戻すには **Default** (デフォルト) をクリックします。

**Alarm Setting (アラーム設定) を設定するには：**

1. **Add** (追加) をクリックして、新しいアラーム設定を追加します。アラーム設定の内容を変更したい場合は、(4) の **Alarm Setting List** (アラーム設定リスト) から選択してクリックします。
2. (1) の **Alarm Setting NO.** (アラーム設定番号) / **Name** (名前) / **Description** (説明) には、下部にある表の中から選択したアラーム設定番号の内容が表示されます。アラーム名および説明を入力します。
3. (2) の **Enable Time** (有効時間) の 00~23 までの数字は 24 時間制による時間を表します。アラーム機能を作動/解除したい時間を選択して、該当ブロックをクリックします。アラームを解除すると、ブロックは白くなります。
4. (3) の **Conditions** (条件) では、いずれか 1 つの条件を満たす場合にアラームを作動させるには「**Trigger if any** (いずれか 1 つの条件を満たす場合に作動させる)」を、すべての条件を満たす場合にアラームを作動させるには「**Trigger if all** (すべての条件を満たす場合に作動させる)」を設定します。

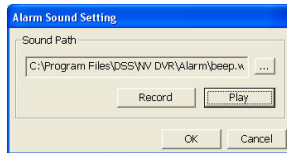
**Motion Detected** (動きが検知されたとき) および **Video Loss** (ビデオ無信号) で、システムによるアラーム作動条件を設定するカメラ番号 (01~16) を選択してクリックします。

システムによるアラーム発生条件を設定するセンサー番号 (01~16) を選択してクリックします。センサーの通常の状態を **high** (高) に設定している場合は、センサー条件を **low** (低) に設定します (第 5.7 章の手順 4 を参照してください)。

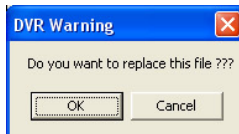
5. (5) の Action (動作) では、アラーム条件が作動した場合に実行するアラーム動作を設定します。
  - **Relay Output (リレー出力)**  
作動させるリレー機器の番号をクリックします。
  - **Launch E-Map (電子地図の起動)**  
ミニ版の E マップ (電子地図) 画面を表示します。
  - **TV Out (TV 出力)**  
アラームが作動したソースからの映像を TV に表示します。
  - **Enlarge Camera View (カメラ表示を拡大する)**  
アラームが作動したソースからの映像を、Preview (プレビュー) /Advanced (アドバンスド) モードのみで表示します。
  - **Play Warning Sound (警告音を鳴らす)**  
警告音を鳴らします。設定するには、**Detail (詳細)** をクリックします (第 5.9.1 章を参照してください)。
  - **Make Phone Calls (電話を掛ける)**  
リストに含まれる番号に電話してコンタクトを取ります。設定するには、**Detail (詳細)** をクリックします (第 5.9.2 章を参照してください)。この機能を使用するには、PC に音声モデムを接続する必要があります。
  - **Send E-mail (電子メールを送信する)**  
電子テキストメッセージを送信します。設定するには、**Detail (詳細)** をクリックします (第 5.9.3 章を参照してください)。
  - **File Transmission via FTP (FTP によるファイル送信)**  
FTP (ファイル転送プロトコル) を使用して遠隔 PC にファイルをアップロードします。設定するには、**Detail (詳細)** をクリックします (第 5.9.4 章を参照してください)。
  - **Start Recording (録画を開始する)**  
選択したカメラからのビデオ映像を録画します。設定するには、**Detail (詳細)** をクリックします (第 5.9.5 章を参照してください)。
  - **SMS (ショートメッセージサービス) /MMS (マルチメディアメッセージサービス)**  
SMS は、テキストメッセージのみを携帯電話へ送信します。MMS は、ワイヤレスアプリケーションプロトコル (WAP) を使用して、無線ネットワーク上でテキストメッセージおよび画像を送信します。携帯電話がこの機能に対応していること、および PC を GSM/GPRS モデムに接続していることが必要となります。設定するには、**Detail (詳細)** をクリックします (第 5.9.6 章を参照してください)。
  - **PTZ preset point (PTZ プリセットポイント)**  
PTZ カメラをプリセットポイント設定に応じて移動させます。設定するには、**Detail (詳細)** をクリックします (第 5.9.7 章を参照してください)。
  - **Alarm SOP (アラーム発生時の標準作業手順)**  
アラーム発生時の作業手順をリストアップし、操作人員に指示します。設定するには、**Detail (詳細)** をクリックします (第 5.9.8 章を参照してください)。

### 5.9.1 アラーム音を設定するには:

1. Play Warning Sound (警告音を鳴らす) チェックボックスの右側にある **Detail (詳細)** をクリックします。
2. Alarm Sound Setting (アラーム音設定) ダイアログボックスで、別の wav ファイルを他の音源あるいはフォルダから選択するには **...** を、再生するには **Play (再生)** を、新たに音声ファイルを作成するには **Record (録音)** をクリックします。



3. **Record (録音)** をクリックした場合は、ファイルを置き換えるかどうか尋ねられます。続行するには **OK** を、中止するには **Cancel (キャンセル)** をクリックします。



4. Sound Recorder (音声レコーダー) が表示されたら、レコーダーのコントロールパネルを使って、録音、停止、再生、巻戻し、早送り操作を行います。既存のファイルを保存したい場合は、**File (ファイル) > Save As...** (名前を付けて保存) をクリックした後、ファイル名を入力して **Save (保存)** をクリックします。録音するには、PC に接続したマイクが必要となります。

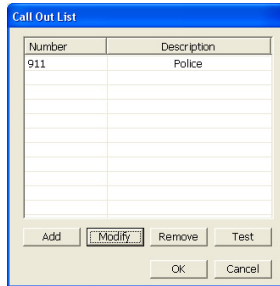


5. 設定を保存して終了するには **OK** を、設定を保存せずに終了するには **Cancel (キャンセル)** をクリックします。

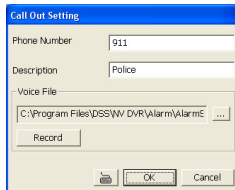
### 5.9.2 電話通知を設定するには

1. Make Phone Calls (電話を掛ける) チェックボックスの右側にある **Detail (詳細)** をクリックします。
2. Call Out List (電話帳) で、新しい連絡先を追加するには **Add (追加)** を、選択した連絡先の内容を変更するには **Modify (修正)** を、選択した連絡先を削除する

には **Remove**（削除）を、正常に機能するか否かを確認するには **Test**（テスト）をクリックします。



3. Call Out Setting（電話通知設定）で、Phone Number（電話番号）および Description（説明）を入力します。既存の録音音声メッセージを選択するには **...** を、新しく音声メッセージを作成するには **Record**（録音）をクリックします。



4. Sound Recorder（音声レコーダー）が表示されたら、レコーダーのコントロールパネルを使って、録音、停止、再生、巻戻し、早送り操作を行います。既存のファイルを保存したい場合は、**File**（ファイル）> **Save As...**（名前を付けて保存）をクリックしたあと、ファイル名を入力して **Save**（保存）をクリックします。録音するには、PCに接続したマイクが必要となります。
5. 設定を保存して終了するには **OK** を、設定を保存せずに終了するには **Cancel**（キャンセル）をクリックします。

### 5.9.3 電子メール送信を設定するには

Send Email（電子メールを送信する）チェックボックスの右側にある **Detail**（詳細）をクリックします。E-mail Setting（電子メール設定）ダイアログボックスで、設定を保存して終了するには **OK** を、設定を保存せずに終了するには **Cancel**（キャンセル）をクリックします。



The screenshot shows the 'Mail Settings' dialog box. It is divided into several sections:

- Mail Server:** Contains fields for 'SMTP Server' (set to 'AskTech.securify.com'), 'Port' (set to '25'), and an 'Authentication' checkbox.
- ID and Password:** Fields for 'ID' and 'Password' are located below the authentication checkbox.
- Mail:** Contains fields for 'From:', 'To:', 'CC:', and 'Subject:'. The 'Message' field is a text area on the right. A 'Test Account' button is at the bottom right of this section.
- Email Notice Setting:** Contains a 'Notice Interval' field (set to '5' minutes) and an 'Embedded image' dropdown (set to '352x240') with a frame count of '1'.
- Modem Dial up Setting:** Contains an 'Auto Dial up' dropdown and an 'Auto Disconnect after' field (set to '1' minute).

Numbered callouts on the left side of the dialog point to the following fields:

- (1) points to the 'SMTP Server' field.
- (2) points to the 'To:' field.
- (3) points to the 'Notice Interval' field.
- (4) points to the 'Auto Dial up' dropdown.

#### (1) Mail Server (メールサーバー)

SMTP Server (SMTP サーバー) およびポートを入力します。ご利用の電子メールシステムでユーザー認証が必要な場合は、**Authentication (認証)** チェックボックスにチェックを入れて有効にし、ID (ユーザーID) と Password (パスワード) を入力します。

#### (2) Mail (メール)

正しく機能するか否かを確認するには、**Test Account (アカウントのテスト)** ボタンをクリックします。

**From (発信元) :** 送信者のメールアドレスを入力します。

**To and CC (宛先および CC) :** 受信者のメールアドレスを入力します。複数入力する場合は、アドレス間にコンマあるいはセミコロン ( ;) を挿入します。

**Subject (題名) :** メッセージの題名を入力します。

**Message (メッセージ) :** メッセージを入力します。

#### (3) Email Notice Setting (電子メール通知設定)

**Notice Interval (通知間隔)** 次の電子メール通知を送信するまでの時間を設定します。

**Embedded image (埋め込み画像)** 画像サイズを選択し、フレーム数を設定します。

#### (4) Modem Dial up Setting (モデムダイアルアップ設定)

ダイアルアップモデムを使用している場合は、**Auto Dial up (オートダイアルアップ)** チェックボックスを有効にし、モデム名を選択します。また、**Auto Disconnect after (次の時間経過後、自動的に接続を切断する)** チェックボックスを有効にして時間を設定すると、自動的に接続を切断することができます。

#### 5.9.4 FTP によるファイル送信を設定するには

File Transmission via FTP (FTP によるファイル送信) チェックボックスの右側にある **Detail** (詳細) をクリックします。FTP Setting (FTP 設定) ダイアログボックスで、FTP Server (FTP IP)、Port (ポート)、ID (ユーザーID)、Password (パスワード) を入力します。設定を保存して終了するには **OK** を、設定を保存せずに終了するには **Cancel** (キャンセル) をクリックします。

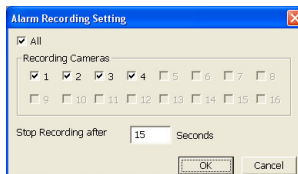


The FTP Setting dialog box contains the following fields and controls:

- FTP Server: 61.12.124.30
- Port: 21
- ID: John
- Password: \*\*\*\*\*
- Buttons: OK, Cancel

#### 5.9.5 録画の開始を設定するには

Start Recording (録画を開始する) チェックボックスの右側にある **Detail** (詳細) をクリックします。Alarm Recording (アラーム録画) ダイアログボックスで、ビデオ映像を録画するカメラを選択します。すべてのカメラを選択するには、**All** (全部) にチェックを入れます。設定を保存するには **OK** を、設定を保存せずに終了するには **Cancel** (キャンセル) をクリックします。

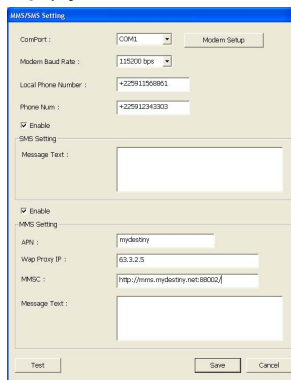


The Alarm Recording Setting dialog box contains the following fields and controls:

- Recording Camera: All (checked), 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16
- Stop Recording after: 15 Seconds
- Buttons: OK, Cancel

#### 5.9.6 SMS/MMS を設定するには

この機能を使用するには、GSM/GPRS モデムが必要となります。GSM/GPRS モデムを PC のシリアル COMM ポートに接続します。SMS/MMS チェックボックスの右側にある **Detail** (詳細) をクリックします。



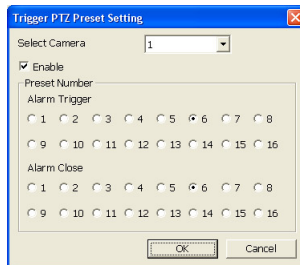
The SMS/MMS Setting dialog box contains the following fields and controls:

- ComPort: COM1
- Modem Setup: Modem Setup
- Modem Baud Rate: 115200 bps
- Local Phone Number: +2591159861
- Phone Num: +2591243303
- Enable: checked
- SMS Setting:
  - Message Text: (empty text box)
- Enable: checked
- MMS Setting:
  - API: mydestiny
  - Wap Proxy IP: 63.3.2.5
  - MMSC: http://mms.mydestiny.net:8002/
  - Message Text: (empty text box)
- Buttons: Test, Save, Cancel

1. ComPort ドロップダウンメニューで、GSM/ GPRS モデムを接続しているポート番号を選択します。
2. **Modem Setup (モデムの設定)** ボタンをクリックすると、システムが自動的に Modem Baud Rate (モデムのボーレート (通信速度)) を検出して入力します。
3. Local Phone Number (ローカル電話番号) 入力欄に、GSM SIM カードの電話番号を入力します。
4. Phone Num (電話番号) 入力欄に、連絡先の電話番号を入力します。
5. これで、SMS または MMS の送信を設定することができます。SMS 設定を有効にする場合は、Message Text (メッセージテキスト) 欄にメッセージを入力します。MMS Setting (MMS 設定) を有効にする場合は、APN (APN 名)、Wap Proxy IP (WAP IP)、MMSC (MMS アドレス) を入力し、Message Text (メッセージテキスト) 欄にメッセージを入力します。詳細は、携帯電話のサービスプロバイダーにお問い合わせください。
6. 設定を保存するには **OK** を、設定を保存せずに終了するには **Cancel (キャンセル)** をクリックします。

### 5.9.7 PTZ プリセットポイントを設定するには

PTZ preset point (PTZ プリセットポイント) チェックボックスの右側にある **Detail (詳細)** をクリックします。Trigger PTZ Preset Setting (PTZ プリセット設定) ダイアログボックスで、PTZ カメラ番号を選択し、Enable (有効にする) チェックボックスにチェックを入れます。アラームが作動したとき、およびアラームが終了したときの PTZ カメラの位置を選択します。



### 5.9.8 アラーム発生時の標準作業手順を設定するには:

Alarm SOP (アラーム発生時の標準作業手順) チェックボックスの右側にある **Detail (詳細)** をクリックします。Step (手順) 入力欄に、アラームが作動した場合の標準手順を入力します。アラームが作動した場合、Standard Operation Procedure (標準作業手順) ダイアログボックスが表示されます。次の指示に進むには **Next (次へ)** を、1 つ前の手順に戻るには **Back (戻る)** を、終了するには **Finish (終了)** を、解除するには **Abort (中止)** をクリックします。

Standard Operation Procedure Setting

Step1: call police 911

Step2: close all the gate.

Step3:

Step4:

Step5:

OK Cancel

## 5.10 ユーザー設定

User Setting (ユーザー設定) は、管理者に限りアクセス権限があります。User Setting (ユーザー設定) ダイアログボックスで、新しいユーザーを追加するには **Add (追加)** を、選択したユーザーを削除するには **Delete (削除)** を、ユーザーの制御権限を変更するには **Edit (編集)** を、新しい設定を保存して終了するには **OK** を、保存せずに終了するには **Cancel (キャンセル)** をクリックします。

User Setting

Level	Name	Description
Administrator	John	
User	Ken	
User	James	

Add Delete Edit

OK Cancel

**Add (追加)** あるいは **Edit (編集)** をクリックした場合は、ユーザーの制御設定をカスタマイズすることができます。設定を保存して終了するには **OK** を、設定を保存せずに終了するには **Cancel (キャンセル)** をクリックします。

User Setting

(1) Authorization Level  
☒ User ☐ Administrator

(2) Control Right  
☒ System Setting ☒ PTZ  
☒ Record ☒ E-Map  
☒ Network ☒ Backup  
☒ Playback ☒ Scheduler  
☒ Power OFF ☒ POS  
☒ IP Camera ☒ Advanced Mode

(3) Remote Access time  
☒ Infinite  Minute

(4) Visible camera  
☒ All  
☒ 1 ☒ 2 ☒ 3 ☒ 4 ☐ 5 ☐ 6 ☐ 7 ☐ 8  
☐ 9 ☐ 10 ☐ 11 ☐ 12 ☐ 13 ☐ 14 ☐ 15 ☐ 16

(5) Name: Ken Password: \*\*\*\*\* (7)  
 (6) Description: Night shift Confirm Password: \*\*\*\*\* (8)

OK Cancel Default

**(1) Authorization level (権限レベル)**

ユーザーのステータスを選択します。Administrator (管理者レベル) に設定した場合に限り、User Setting (ユーザー設定) へのアクセスおよび Remote Console (遠隔コンソール) からのアラーム状態のリセットを行うことができます。

**(2) Control Right (制御権限)**

ユーザーからのアクセスを許可する項目を設定します。

**(3) Remote Access time (遠隔アクセス時間)**

ユーザーが、IE (インターネットエクスプローラ) を使って遠隔地から NV DVR サーバーにアクセスできるように設定できます。Infinite (無制限) にチェックを入れると、時間制限無く NV DVR にアクセスすることができます。時間制限を設定するには、Minute (分) 欄に分数を入力します。

**(4) Visible Camera (表示可能なカメラ)**

ユーザーからのアクセスあるいは表示を許可するカメラ番号を選択します。すべてのカメラを選択するには、ALL (全部) にチェックを入れます。

**(5) Name (ユーザー名)**

ユーザー名を入力します。

**(6) Description (説明)**

ユーザーに関する記述を入力します。

**(7) Password (パスワード)**

ユーザーのパスワードを入力します。

**(8) Confirm Password (パスワードの確認)**

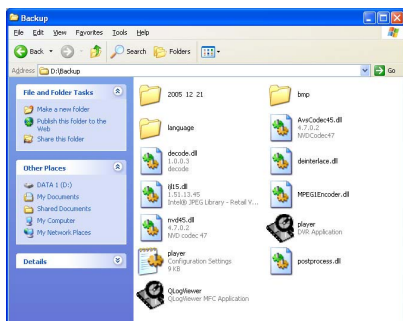
確認のため、ユーザーのパスワードを再度入力します。

## 第6章 バックアップビデオファイルの再生（バックアップビデオ用プレーヤー）

バックアップファイルは、QLogViewer および Player アプリケーションを使用して再生することができます。録画ファイルのバックアップ時は、自動的に QLogViewer および Player アプリケーションがバックアップフォルダに含まれるようになっています。

QLogViewer アプリケーションは、1 度に 1 台のビデオのみを再生できます。ビデオのセグメント化（分割）、出力のセグメント化（分割）、スクリーンショットキャプチャ、スクリーンショット印刷機能を使用できます。Player アプリケーションでは、再生モードと同様の操作が可能で、6 種類の画面分割形式ですべてのビデオを同時に再生することができます。Preview（プレビュー）/Playback（再生）ボタンがない点以外は、すべて再生モードと同じです。

これらのアプリケーションを起動するには、Backup（バックアップフォルダ）を開き、QLogViewer あるいは Player アイコンをダブルクリックします。



### 6.1 QLogViewer のボタンについて




名称	機能
(1) Time (時間)	ファイルの日時および再生速度を表示します。
(2) File (ファイル)	ファイルの保存場所を表示します。
(3) 再生コントロールボタン	<p><b>Begin (最初に戻る)</b>: 録画ビデオファイルの最初に移動します。</p> <p><b>Previous (コマ戻り)</b>: 1 つ前のフレームに戻ります。</p> <p><b>Slower (スロー再生)</b>: 録画ビデオファイルを 1/2 倍速、1/4 倍速、1/8 倍速で再生します。</p> <p><b>Rewind (巻戻し)</b>: 録画ビデオファイルを巻き戻します。</p> <p><b>Pause (一時停止)</b>: 録画ビデオファイルを一時的に停止します。</p> <p><b>Play (再生)</b>: 録画ビデオファイルを再生します。</p> <p><b>Faster (高速再生)</b>: 録画ビデオファイルを 2 倍速、4 倍速、8 倍速で再生します。</p> <p><b>Next (コマ送り)</b>: 次のフレームに進みます。</p> <p><b>End (最後に進む)</b>: 録画ビデオファイルの終わりに移動します。</p>
(4) プログレスバー	現在再生しているファイルの進行状況を表示します。バーを移動させて、そのトラックの任意の再生位置を探すこともできます。
(5) セグメント化	録画ビデオの任意の部分を保存します。操作手順については、第 4.8 章を参照してください。
(6) 出力	セグメント化したファイルを、*.mpg / *.avi / *.dvr 形式で保存します。
(7) 保存	スクリーンショット (画面全体の画像) をキャプチャし、*.jpg あるいは*.bmp 形式で保存します。
(8) 印刷	スクリーンショット (画面全体の画像) を印刷します。
(9) 開く	バックアップビデオファイルを開きます。

## 6.2 Player のボタンについて



名称	機能
(1) 画面分割モード	6種類の画面分割形式から選択でき、1つの画面上にすべてのカメラの映像を表示したり、あるいは1台のカメラを他のカメラより大きく表示したり、並行表示したりすることができます。
<b>i</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- カメラが4台のみ接続されている場合は、9、16、13分割画面モードに切り換えることはできません。</li> <li>- 画面上の任意のエリアを拡大表示したい場合は、拡大したいエリアで <b>Right (右)</b> クリックして正方形を <b>Drag (ドラッグ)</b> します。</li> </ul>
(2) 終了	Player アプリケーションを閉じます。
(3) プログレスバー	現在再生しているファイルの進行状況を表示します。バーを移動させて、そのトラックの任意の再生位置を探すこともできます。
(4) 時間ボタン	任意の時間をクリックして、特定の時間枠の録画ビデオファイルを再生することができます。
(5) 再生コントロールボタン	<p><b>Begin (最初に戻る)</b>: 録画ビデオファイルの最初に移動します。</p> <p><b>Previous (コマ戻り)</b>: 1つ前のフレームに戻ります。</p> <p><b>Slower (スロー再生)</b>: 録画ビデオファイルを<math>\frac{1}{2}</math>倍速、<math>\frac{1}{4}</math>倍速、<math>\frac{1}{8}</math>倍速で再生します。</p> <p><b>Rewind (巻戻し)</b>: 録画ビデオファイルを巻き戻します。</p> <p><b>Pause (一時停止)</b>: 録画ビデオファイルを一時的に停止します。</p> <p><b>Play (再生)</b>: 録画ビデオファイルを再生します。</p> <p><b>Faster (高速再生)</b>: 録画ビデオファイルを2倍速、4倍速、8倍速で再生します。</p> <p><b>Next (コマ送り)</b>: 次のフレームに進みます。</p> <p><b>End (最後に進む)</b>: 録画ビデオファイルの終わりに移動します。</p>



名称	機能
(6) Date (日時)	録画ビデオファイルの再生を開始する日付をカレンダーから、時間を 00~23 から選択します。
	00~23 までの数字は、24 時間制による時間を表します。01~16 までの数字はカメラ ID を表します。青い欄は、その時間帯に録画されたビデオファイルが存在することを表します。赤い欄は、録画ビデオファイルの再生開始位置を表します。
(7) ステータス バー	録画した日付、時間、および再生速度を表示します。
(8) カメラ ID	現在表示しているカメラの番号を表示します。1 画面モードの場合は、カメラを切り換えて表示するには、カメラの ID 番号をクリックします。
(9) Output (出力)	分割 (セグメント化) したファイルを、*.mpg / *.avi / *.dvr 形式で保存します ( <a href="#">Chapter 4.8</a> を参照してください)。
(10) Segment (セグメント)	録画ビデオの任意の部分を保存します ( <a href="#">Chapter 4.8</a> を参照してください)。
(11) Print (印刷)	スクリーンショット (画面全体の画像) を印刷します。
(12) Snapshot (スナップショット)	スクリーンショット (画面全体の画像) をキャプチャし、*.jpg あるいは*.bmp 形式で保存します。
(13) Full screen (全画面)	Playback-compact (再生-コンパクト) モードで表示します。元の表示モードに戻るには、マウスを <b>Right (右)</b> クリックするか、キーボードの <b>ESC</b> キーを押してください。複数画面モード時にフルスクリーンに切り換えた場合は、 <b>Left (左)</b> クリックすると、複数画面モードで 1 つのビデオ映像のみを表示/すべてのビデオを表示のいずれかに切り換えることができます。
(14) Visual Search (ビジュアル検索)	特定のカメラの画像を、日、時、分、10 秒単位で検索することができます ( <a href="#">Chapter 4.10</a> を参照してください)。
(15) Find Next (次を検索)	モーションディテクタ (動作検知機能) フレームで、次のイベントあるいは変化を検索します。この機能は、Intelligent Search (インテリジェント検索) あるいは Event Search (イベント検索) 実行時に限り使用できます。
(16) Event Search (イベント検索)	システム内で発生した録画済のアクティビティ (すなわち Sensor (センサー)、Motion (動き)、Video Loss (ビデオ無信号)、POS) の中から検索します ( <a href="#">Chapter 4.11</a> を参照してください)。
(17) Intelligent Search (インテリジェント検索)	モーションディテクタ (動作検知機能) フレームで、変化を検索します ( <a href="#">Chapter 4.12</a> を参照してください)。

## 第7章 ファンクションキーを使用する

NV DVR システムでは、ショートカットキー操作を行うことができます。ショートカットとして使用できるファンクションキーおよびその働きは下表のとおりです。

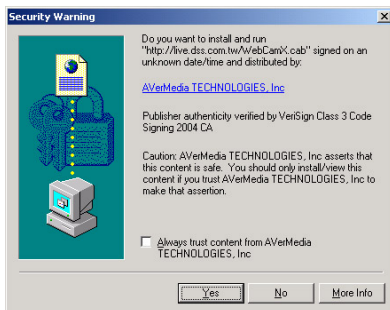
ファンクションキー	機能
F1	システム情報を表示します
F2	録画を開始します
F3	ネットワーク機能を有効にします
F4	システム設定にアクセスします
F5	再生モードに切り換えます
F6	E マップ（電子地図）設定にアクセスします
F7	PTZ カメラのコントロールパネルにアクセスします
F8	スナップショットを撮ります
F9	フルスクリーンに切り換えます
F11	オートスキャンに切り換えます
Ctrl + A	ハードウェアの AGC をオン/オフにします

## 第8章 遠隔プログラムを使用する

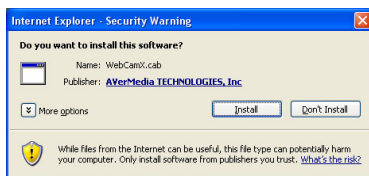
Microsoft 社の IE（インターネットエクスプローラ）を使って IP アドレスあるいはドメイン名を入力すると、NV DVR サーバーにアクセスすることができます。この機能を使用するには、インターネットに接続し、ネットワーク機能を有効に設定する必要があります。

初めてこの機能にアクセスした場合は、WebCamX. cab をインストールするよう表示が出ます。以降接続およびログインできるようにはインストールを許可します。

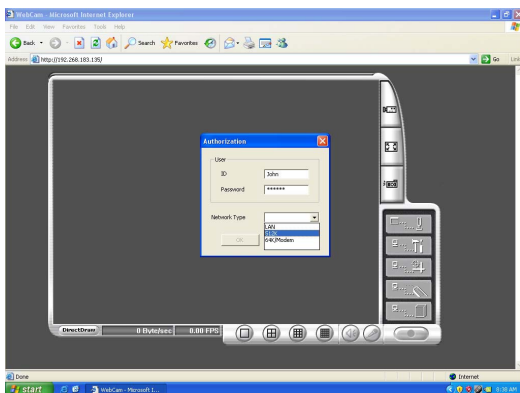
Windows 2000 の場合は、Security Warning（セキュリティ警告）ダイアログボックスが表示されたら **Yes（はい）** をクリックします。



Windows XP の場合は、Internet Explorer - Security Warning（IE-セキュリティ警告）ダイアログボックスが表示されたら **Install（インストールする）** をクリックします。




WebCamX. cab のインストール完了後 NV DVR サーバーに接続すると、ID（ユーザーID）と Password（パスワード）の入力および Network Type（接続形式）の選択をする必要があります。



## 8.1 NV DVR ウェブカメラのボタンについて

各画面のビデオ画質を変更するには、ビデオ画面を右クリックし、Video Quality（ビデオ画質）をポイントして High（高）、Normal（標準）、Low（低）から選択します。

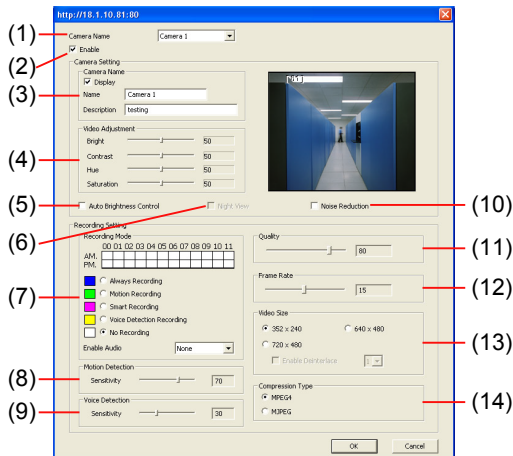


名称	機能
(1) DirectDraw (ダイレクトドロー)	この機能により、高速で滑らかな映像を表示することができます。
 グラフィックカードによっては、この機能に対応していない場合があります。	
(2) 受信ファイルサイズ	現在受信中のデータの1秒間あたりの受信量を表示します。
(3) カメラフレーム数	1秒間あたりのフレーム数を表示します。
(4) 画面分割モード	4種類の画面分割形式から選択してすべてのカメラを表示します。別のカメラ番号に切り換えて表示することもできます。
(5) 音声	遠隔音声を有効/無効にします。
(6) 双方向会話	<p>双方向音声機能を有効/無効にします。この機能を有効にすると、クライアントとサーバーがマイクを使ってインターネットを通じて会話することができます。</p> <p>この機能を使用する前に、マイクとスピーカーが正常に機能していることを確認してください。NV DVR サーバー側で Talk to Web-Client (ウェブクライアントと会話する) 設定を無効に設定している場合は、相手側 (サーバー側) の音声を聞くことはできません。</p>
(7) 録画	選択したカメラのビデオ映像を AVI 形式で保存します。
(8) イベントログビューアー	イベントログ、操作ログ、POS ログ、システムログ、ネットワークログを表示します。
(9) 遠隔コンソール	遠隔コンソールを起動します。インターフェースは NV DVR アプリケーションと同一で、NV DVR サーバーを制御することができます (第 8.2 章を参照してください)。
(10) 遠隔 E マップ	NV DVR サーバーの E マップ (電子地図) 画面を表示します (第 4.7 章を参照してください)。
(11) 遠隔設定	NV DVR サーバーの設定を変更します (第 8.1.1 章を参照してください)。
(12) PTZ カメラの選択	PTZ カメラコントローラを起動します (第 8.2 章を参照してください)。
(13) スナップショット	スクリーンショット (画面全体の画像) をキャプチャし、*.bmp 形式で保存します。
(14) 全画面	<p>スクリーン全体にビデオ映像のみを表示します。</p> <p>元の表示モードに戻るには、マウスを <b>Right (右)</b> クリックするか、キーボードの <b>ESC</b> キーを押してください。</p>

名称	機能
(15) 表示するカメラの選択	<p>異なるサーバーのカメラを選択して表示します。Select Camera（カメラの選択）ダイアログボックスの Display（表示）欄をクリックしてカメラ表示を有効/無効に設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- <b>Add Server（サーバーを追加する）</b>をクリックして、追加するサーバーの種類を DVR あるいは IP Cam（IP カメラ）から選択します。</li> <li>- 選択した項目を削除するには、<b>Delete Server（サーバーを削除する）</b>をクリックします。</li> <li>- 以前保存したリストと置き換えるには、<b>Import（インポート）</b>をクリックします。</li> <li>- リストを保存するには、<b>Export（エクスポート）</b>をクリックします。</li> </ul>

### 8.1.1 遠隔システムを設定するには

設定を保存して終了するには **OK** を、設定を保存せずに終了するには **Cancel（キャンセル）** をクリックします。ここで行う設定は、遠隔 DVR に対してのみ適用されます。



#### (1) Camera Name（カメラ名）

設定を変更したいカメラの番号を選択します。

#### (2) Enable（有効にする）

選択したカメラを有効/無効に設定します。ビデオ入力源がないカメラについては、システムが無信号エラーとして検出することを防ぐため、無効に設定することを推奨します。

### (3) Camera Setting (カメラ設定)

- **Display (表示)**  
ビデオ表示を有効/無効にします。選択したカメラのビデオ表示を無効に設定した場合でも、ビデオの録画および再生モードでのプレビューが可能です。
- **名称**  
カメラの名前を変更します。
- **Description (説明)**  
短いコメントを入力します。

### (4) Video Adjustment (画質調整)

選択したカメラの Brightness (明るさ)、Contrast (コントラスト)、Hue (色合い)、Saturation (彩度) を調整します。

### (5) Auto Brightness Control (明るさ自動制御)

明るさを自動的に調整します。

### (6) Night View (ナイトビュー)

自動的に露出を補正し、特に監視エリアが暗い状況時に画像をより見やすくします。この機能は、Auto Brightness Control (明るさ自動制御) を有効に設定している場合に限り使用できます。

### (7) Recording Mode (録画モード)

00～11 までの数字 (AM & PM) は、12 時間制による時間を表します。24 時間すべて録画するには、録画モードを選択して(ボタンをクリックします。特定の時間のみ録画したい場合は、各録画モードの左側にある色ブロックをクリックし、次に時間ブロックをクリックします。システムが録画を開始すると、画面左上に赤い三角マークが表示されます。録画モードは以下のとおりです。

- **Always Recording (連続録画)**  
選択したカメラからのビデオ映像を録画し、指定した保存先に保存します (第 5.1 章の (1) を参照してください)。
- **Motion Recording (動作検知録画)**  
システムが動きを検知した場合に限り、選択したカメラのビデオ映像の録画を開始します。動きを検知すると、動きを検知する前のフレームを **Start Record Prior** (次の秒数前から録画開始) の設定に応じて自動的に保存し、動き停止後、**Stop Record After** (次の秒数後録画停止) 設定に応じて録画を停止します。
- **Smart Recording (スマート録画)**  
動きが検知されないときは、フレームレートを 1 秒あたり 1 フレームに減らして録画します。動きを検知すると、システムは自動的に (7) **Frame Rate** (フレームレート) で設定したレートで録画します。
- **No Recording (録画しない)**  
システムは録画を行いません。

### (8) Motion Detection (動作検知)

モーションディテクタ (動作検知機能) の検知感度を調整します。数値を上げると、より高い感度で動きを検知します。動きを検知すると、画面左上に緑の三角マークが表示されます。

**(9) Voice Detection (音声検知)**

音声ディテクタ（音声検知機能）の検知強度を調整します。音声の強さがここで設定した値を超えた場合、システムが検知します。

**(10) Noise Reduction (ノイズリダクション)**

望ましくないビデオ信号を低減し、ビデオ画質を向上させます。



ノイズリダクション機能は、CPU リソースを大量に消費します。この機能は、絶対に必要な場合に限り使用してください。

**(11) Quality (画質)**

ビデオ映像の画質を調整します。数値を上げると、圧縮率が下がり、より多くのハードディスク容量を使用します。

**(12) Frame Rate (フレームレート)**

1 秒間に録画するビデオ映像の画像数を設定します。設定可能なフレームレートは、NTSC の場合は 1 から 30 まで、PAL の場合は 1 から 25 までです。フレームレートが高いほど、使用するハードディスク容量も増加します。

**(13) Video Size (解像度)**

解像度を選択し、(ボタンをクリックします。このサイズが大きいほど、作成されるファイルサイズも大きくなります。Enable Deinterlace（インターレース除去）を有効にして、画質を向上させることができます。Enable Deinterlace（インターレース除去）は、静止画像をキャプチャする場合は 1 番、動きの多い映像をキャプチャする場合は 2 番に設定します。

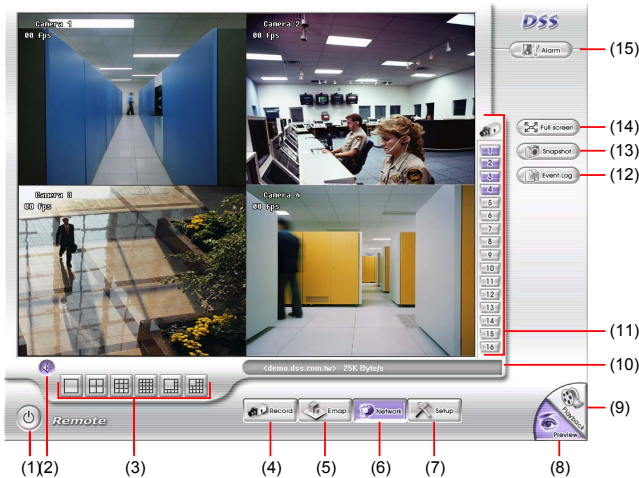
**(14) Compression Type (圧縮方式)**

2 種類の圧縮方式から選択します。MPEG4 は、より高い圧縮率を使用し、ファイルサイズはより小さくなります。一方、MJPEG はより低い圧縮率を使用し、ファイルサイズはより大きくなります。

**8.2 ウェブカメラ PTZ のボタンについて**


名称	機能
(1) 方向ボタン	PTZ カメラの焦点を調整し、位置を決定します。中心をクリックすると、カメラが自動的に回転（パン）します。
(2) PTZ の選択	PTZ カメラを有効/無効に設定します。Select PTZ（PTZ の選択）ダイアログボックスの Select（選択）欄で、PTZ カメラの表示および制御を有効/無効に設定します。設定を保存して終了するには <b>OK</b> を、設定を保存せずに終了するには <b>Cancel（キャンセル）</b> をクリックします。
(3) オートパングループ	PTZ カメラを、選択したカメラグループのプリセット位置番号に基づいて自動的に作動させます。
(4) カメラのプリセット位置番号	PTZ カメラをプリセットポイントに移動させます。
(5) ズーム+/-	画像を拡大/縮小します。
(6) フォーカス+/-	カメラのピントを手動調整して画像をクリアに表示します。

8.3 遠隔コンソールのボタンについて



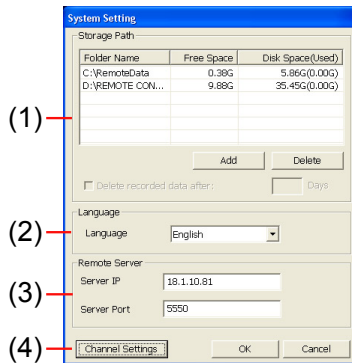
名称	機能
(1) 終了	Remote Console（遠隔コンソール）を閉じます。
(2) 音量	音声を有効/無効にします。



名称	機能
(3) 画面分割モード	6 種類の画面分割形式から選択でき、1 つの画面上にすべてのカメラの映像を表示したり、あるいは 1 台のカメラを他のカメラより大きく表示したり、並行表示したりすることができます。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>- カメラが 4 台のみ接続されている場合は、9、16、13 分割画面モードに切り換えることはできません。</li> <li>- ビデオ画質を変更するには、ビデオ画面を右クリックし、High（高）、Normal（標準）、Low（低）から選択します。</li> </ul>
(4) Record（録画）	ビデオ録画を開始/停止します。
(5) Emap（電子地図）	各エリアの地図、カメラ/センサー/リレーの位置および警告イベントを表示します（第 4.7 章を参照してください）。
(6) Network（ネットワーク）	遠隔地からのシステムアクセスを有効/無効にします。この機能により、遠隔地からインターネット接続を通じて NV DVR サーバーにアクセスすることができます。
(7) Setup（設定）	Remote Console（遠隔コンソール）設定を設定します（第 8.3.1 章を参照してください）。
(8) Preview（プレビュー）	Preview（プレビュー）/Advanced（アドバンスド）モードに切り換えます。この機能により、ライブカメラ映像を表示することができます。
(9) Playback（再生）	Playback（再生）モードに切り換えます。この機能により、録画したビデオファイルを表示することができます（第 8.4 章を参照してください）。
(10) ステータスバー	現在の日付、時間、およびハードディスクの空き容量を表示します。
(11) カメラ ID	現在表示しているカメラの番号を表示します。1 画面モードの場合は、カメラを切り換えて表示するには、カメラの ID 番号をクリックします。
(12) Event log（イベントログ）	システムで発生した動作記録（履歴）を表示します。記録（履歴）をフィルタするには、Event（イベント）、System（システム）、Operation（操作）、Network（ネットワーク）、POS のいずれかを表示するオプションボタンを選択してクリックします。
(13) Snapshot（スナップショット）	スクリーンショット（画面全体の画像）をキャプチャし、*.jpg あるいは*.bmp 形式で保存します。
(14) Full screen（全画面）	スクリーン全体にビデオ映像のみを表示します。 元の表示モードに戻るには、マウスを <b>Right（右）</b> クリックするか、キーボードの <b>ESC</b> キーを押してください。
(15) Alarm（アラーム）	警告を発して警告情報を表示します。アラームのリセット/オン/オフ、およびセンサーリスト/リレーリストの項目を右クリックしてセンサー/リレーを作動させる機能は、管理者レベルにおいてのみ実行可能です。

### 8.3.1 遠隔コンソール設定を設定するには

設定を保存して終了するには **OK** を、設定を保存せずに終了するには **Cancel**（キャンセル）をクリックします。



#### (1) Storage Path（保存先）

データを保存するディレクトリを設定します。1 時間分のデータを録画するために必要な空き容量が足りない場合、システムは自動的に最も古いデータと置き換えます。保存先を複数設定している場合は、システムは自動的に次の保存先にデータを保存します。

デフォルトでは、データは C:\RemoteData に保存されます。別の保存先を設定するには **Add（追加）** をクリックします。選択した保存先を削除するには **Delete（削除）** をクリックします。

データを任意の日数が経過後自動的に消去するには、**Delete recorded data after（次の日数経過後、録画データを削除する）** チェックボックスにチェックを入れて有効にし、**Days（日数）** 入力欄に日数を入力します。

#### (2) Language（言語）

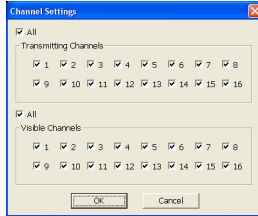
ツールチップおよびダイアログに表示される言語を選択します。デフォルト設定は English（英語）です。

#### (3) Remote Server（リモートサーバー）

NV DVR の Server IP（サーバー IP）および Server Port（サーバーポート）番号を入力します。

#### (4) Channel Setting（チャンネル設定）

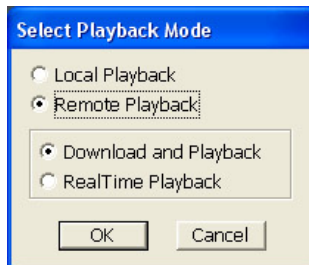
01 から 16 までの数字は、カメラ ID を表します。Transmitting Channels（送信チャンネル）欄で、サーバーからのカメラ信号を受信するカメラ番号を有効にします。Visible Channels（表示チャンネル）欄で、Remote Console（遠隔コンソール）画面でカメラ信号を表示するカメラ番号を有効にします。すべてのカメラを選択するには、**ALL（全部）** にチェックを入れます。



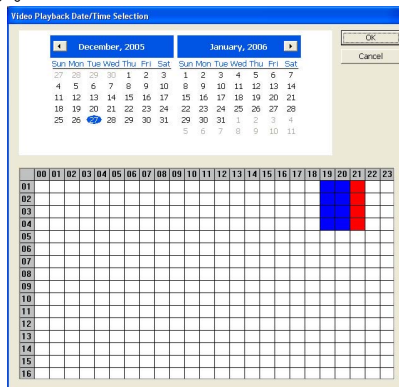
#### 8.4 遠隔再生を使用する

この機能を使用するには、まずファイルのソースを選択する必要があります。Select Playback Mode（再生モードの選択）ダイアログボックスで、遠隔コンソールで録画したファイルを開くには **Local Playback（ローカル再生）** を、NV DVR サーバーで録画したファイルを開くには **Remote Playback（遠隔再生）** を選択します。Remote Playback（遠隔再生）を選択した場合は、高速で大容量のインターネットを使用している場合は **RealTime Playback（リアルタイム再生）** を、それ以外の場合は **Download and Playback（ダウンロード後再生）** を選択します。

続行するには **OK** を、操作を中止するには **Cancel（キャンセル）** をクリックします。



Video Playback Date/Time Selection（ビデオ再生日時選択）ダイアログボックスでは、00～23 までの数字は、24 時間制による時間を表します。01～16 までの数字は、カメラ番号を表します。

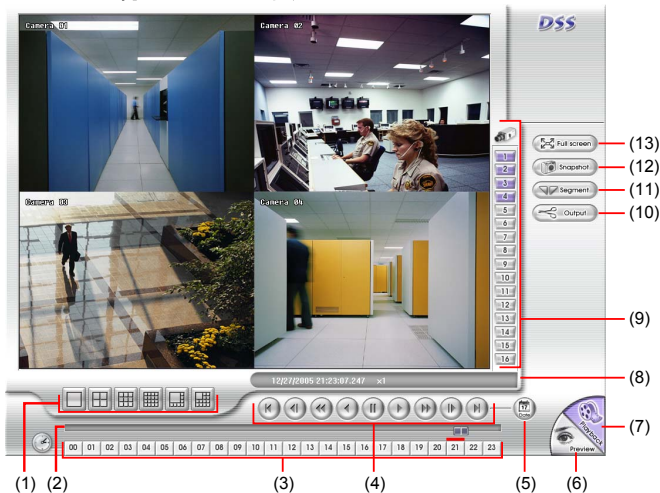





### 選択するには:

1. カレンダーから任意の日付を選択します。◀ / ▶ ボタンを使って、カレンダーを左右に移動できます。
2. 下部にある表の青いブロックをクリックして選択し、録画ファイルを開きます。青いブロックは、選択すると赤色に変わります。白いブロックにはデータが含まれていません。Download and Playback（ダウンロード後再生）を選択している場合は、青いブロックを1つのみ選択できます。
3. 続行するには **OK** を、操作を中止するには **Cancel**（キャンセル）をクリックします。
4. Download and Playback（ダウンロード後再生）を選択した場合は、ブロック選択後、選択した1時間がシステムにより16個のビデオサムネイルに分割されます。Time Selection（時間選択）画面で、ダウンロードしたいビデオサムネイルをクリックして開きます（第8.4.2章を参照してください）。



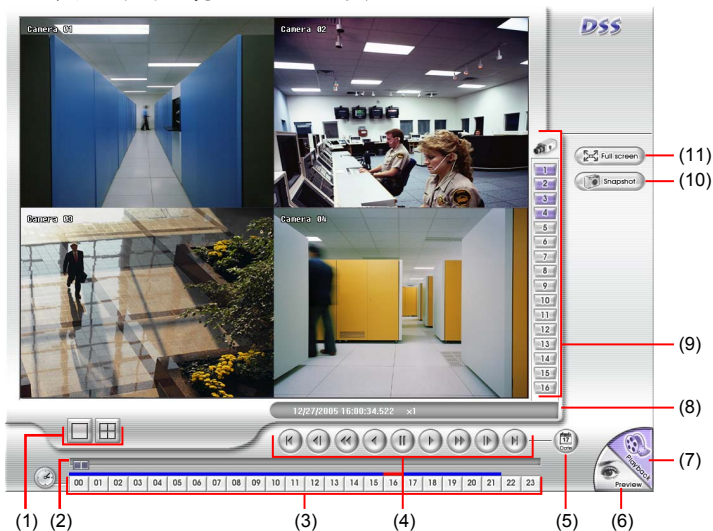
### 8.4.1 ローカル再生モードのボタンについて






名称	機能
(1) 画面分割モード	6 種類の画面分割形式から選択でき、1 つの画面上にすべてのカメラの映像を表示したり、あるいは 1 台のカメラを他のカメラより大きく表示したり、並行表示したりすることができます。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>- カメラが 4 台のみ接続されている場合は、9、16、13 分割画面モードに切り換えることはできません。</li> <li>- 画面上の任意のエリアを拡大表示したい場合は、拡大したいエリアで <b>Right (右)</b> クリックして正方形を <b>Drag (ドラッグ)</b> します。</li> </ul>
(2) プログレスバー	現在再生しているファイルの進行状況を表示します。バーを移動させて、そのトラックの任意の再生位置を探すこともできます。
(3) 時間ボタン	任意の時間をクリックして、特定の時間枠の録画ビデオファイルを再生することができます。
	時間ボタンは、24 時間制による時間を表します。時間ボタンの上に表示される青いバーは、その時間帯に録画されたビデオファイルが存在することを表します。赤いバーは、現在再生中の録画ビデオファイルを表します。
(4) 再生コントロールボタン	<p><b>Begin (最初に戻る)</b>: 録画ビデオファイルの最初に移動します。</p> <p><b>Previous (コマ戻り)</b>: 1 つ前のフレームに戻ります。</p> <p><b>Slower (スロー再生)</b>: 録画ビデオファイルを <math>\frac{1}{2}</math> 倍速、<math>\frac{1}{4}</math> 倍速、<math>\frac{1}{8}</math> 倍速で再生します。</p> <p><b>Rewind (巻戻し)</b>: 録画ビデオファイルを巻き戻します。</p> <p><b>Pause (一時停止)</b>: 録画ビデオファイルを一時的に停止します。</p> <p><b>Play (再生)</b>: 録画ビデオファイルを再生します。</p> <p><b>Faster (高速再生)</b>: 録画ビデオファイルを 2 倍速、4 倍速、8 倍速で再生します。</p> <p><b>Next (コマ送り)</b>: 次のフレームに進みます。</p> <p><b>End (最後に進む)</b>: 録画ビデオファイルの終わりに移動します。</p>
(5) Date (日時)	録画ビデオファイルの再生を開始する日付をカレンダーから、時間を 00~23 から選択します。
	00~23 までの数字は、24 時間制による時間を表します。01~16 までの数字はカメラ ID を表します。青い欄は、その時間帯に録画されたビデオファイルが存在することを表します。赤い欄は、録画ビデオファイルの再生開始位置を表します。
(6) Preview (プレビュー)	Preview (プレビュー) /Advanced (アドバンスド) モードに切り換えます。

名称	機能
(7) Playback (再生)	Playback (再生) モードに切り換えます。この機能により、録画したビデオファイルを表示することができます
(8) ステータス バー	録画した日付、時間、および再生速度を表示します。
(9) カメラ ID	現在表示しているカメラの番号を表示します。1 画面モードの場合は、カメラを切り換えて表示するには、カメラの ID 番号をクリックします。
(10) Output (出力)	分割 (セグメント化) したファイルを、*.mpg / *.avi / *.dvr 形式で保存します (Chapter 4.8 を参照してください)。
(11) Segment (セグメント)	録画ビデオの任意の部分を保存します (Chapter 4.8 を参照してください)。
(12) Snapshot (スナップショット)	スクリーンショット (画面全体の画像) をキャプチャし、*.jpg あるいは *.bmp 形式で保存します。
(13) Full screen (全画面)	Playback-compact (再生-コンパクト) モードで表示します。元の表示モードに戻るには、マウスを <b>Right (右)</b> クリックするか、キーボードの <b>ESC</b> キーを押してください。複数画面モード時にフルスクリーンに切り換えた場合は、 <b>Left (左)</b> クリックすると、複数画面モードで 1 つのビデオ映像のみを表示/すべてのビデオを表示のいずれかに切り換えることができます。

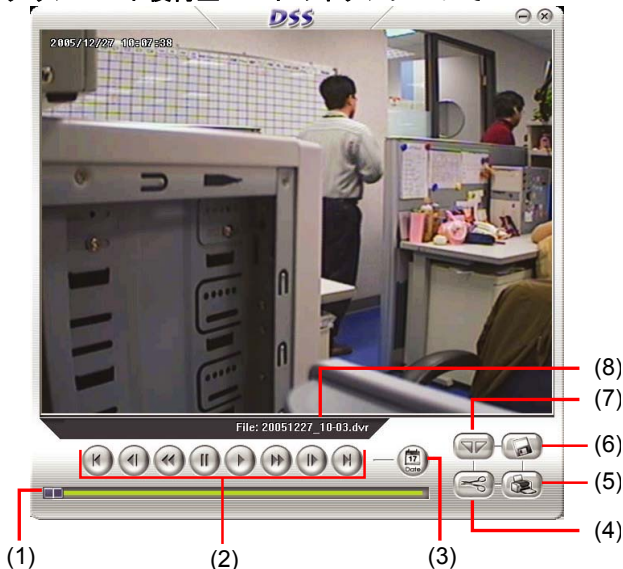
#### 8.4.2 リアルタイム再生モードのボタンについて



名称	機能
(1) 画面分割モード	2 種類の画面分割形式から選択して、すべてのカメラあるいは 1 台のカメラの録画ビデオファイルを再生します。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>- カメラが 4 台のみ接続されている場合は、9、16、13 分割画面モードに切り換えることはできません。</li> <li>- 画面上の任意のエリアを拡大表示したい場合は、拡大したいエリアで <b>Right (右)</b> クリックして正方形を <b>Drag (ドラッグ)</b> します。</li> </ul>
(2) プログレスバ	現在再生しているファイルの進行状況を表示します。バーを移動させて、そのトラックの任意の再生位置を探すこともできます。
(3) 時間ボタン	任意の時間をクリックして、特定の時間枠の録画ビデオファイルを再生することができます。
	時間ボタンは、24 時間制による時間を表します。時間ボタンの上に表示される青いバーは、その時間帯に録画されたビデオファイルが存在することを表します。赤いバーは、現在再生中の録画ビデオファイルを表します。
(4) 再生コントロールボタン	<p><b>Begin (最初に戻る)</b>: 録画ビデオファイルの最初に移動します。</p> <p><b>Previous (コマ戻り)</b>: 1 つ前のフレームに戻ります。</p> <p><b>Slower (スロー再生)</b>: 録画ビデオファイルを 1/2 倍速、1/4 倍速、1/8 倍速で再生します。</p> <p><b>Rewind (巻戻し)</b>: 録画ビデオファイルを巻き戻します。</p> <p><b>Pause (一時停止)</b>: 録画ビデオファイルを一時的に停止します。</p> <p><b>Play (再生)</b>: 録画ビデオファイルを再生します。</p> <p><b>Faster (高速再生)</b>: 録画ビデオファイルを 2 倍速、4 倍速、8 倍速で再生します。</p> <p><b>Next (コマ送り)</b>: 次のフレームに進みます。</p> <p><b>End (最後に進む)</b>: 録画ビデオファイルの終わりに移動します。</p>
(5) Date (日時)	録画ビデオファイルの再生を開始する日付をカレンダーから、時間を 00~23 から選択します。
	00~23 までの数字は、24 時間制による時間を表します。01~16 までの数字はカメラ ID を表します。青い欄は、その時間帯に録画されたビデオファイルが存在することを表します。赤い欄は、録画ビデオファイルの再生開始位置を表します。
(6) Preview (プレビュー)	Preview (プレビュー) /Advanced (アドバンスド) モードに切り換えます。

名称	機能
(7) Playback (再生)	Playback (再生) モードに切り換えます。この機能により、録画したビデオファイルを表示することができます
(8) ステータス バー	録画した日付、時間、および再生速度を表示します。
(9) カメラ ID	現在表示しているカメラの番号を表示します。1 画面モードの場合は、カメラを切り換えて表示するには、カメラの ID 番号をクリックします。
(10) Snapshot (スナップショット)	スクリーンショット (画面全体の画像) をキャプチャし、*. jpg あるいは*. bmp 形式で保存します。
(11) Full screen (全画面)	Playback-compact (再生-コンパクト) モードで表示します。元の表示モードに戻るには、マウスを <b>Right (右)</b> クリックするか、キーボードの <b>ESC</b> キーを押してください。複数画面モード時にフルスクリーンに切り換えた場合は、 <b>Left (左)</b> クリックすると、複数画面モードで1つのビデオ映像のみを表示/すべてのビデオを表示のいずれかに切り換えることができます。

#### 8.4.3 ダウンロード後再生モードのボタンについて



名称	機能
(1) プログレスバ ー	現在再生しているファイルの進行状況を表示します。バーを移動させて、そのトラックの任意の再生位置を探すこともできます。



名称	機能
(2) 再生コントロールボタン	<b>Begin (最初に戻る)</b> : 録画ビデオファイルの最初に移動します。 <b>Previous (コマ戻り)</b> : 1 つ前のフレームに戻ります。 <b>Slower (巻戻し)</b> : 録画ビデオファイルを 1/2 倍速、1/4 倍速、1/8 倍速で再生します。 <b>Rewind (巻戻し)</b> : 録画ビデオファイルを巻き戻します。 <b>Pause (一時停止)</b> : 録画ビデオファイルを一時的に停止します。 <b>Play (再生)</b> : 録画ビデオファイルを再生します。 <b>Faster (高速再生)</b> : 録画ビデオファイルを 2 倍速、4 倍速、8 倍速で再生します。 <b>Next (コマ送り)</b> : 次のフレームに進みます。 <b>End (最後に進む)</b> : 録画ビデオファイルの終わりに移動します。
(3) Date (日時)	ファイルを開きます。
(4) 出力	セグメント化 (分割) したファイルを、*. mpg あるいは *. avi 形式で保存します
(5) 印刷	スクリーンショット (画面全体の画像) を印刷します。
(6) 保存	スクリーンショット (画面全体の画像) を *. jpg あるいは *. bmp 形式で、ビデオを *. dvr 形式で保存します。
(7) セグメント	録画ビデオの任意の部分を保存します。第 4.8 章を参照してください。

## 8.5 ハンディービューアーを使用して NV DVR サーバーにアクセスする

携帯電話を使用して、インターネット経由で NV DVR にアクセスすることができます。携帯電話が IE ブラウザに対応しており、またインターネットに接続していることが必要です。NV DVR サーバーにアクセスするには、IE ブラウザを開き、<http://enter server IP or domain name here/mobile> と入力します。

最新のスクリーンショットを表示することができます。チャンネルあるいはカメラを変更するには < > を、新しいスクリーンショットを再読込するには **Refresh** (リフレッシュ) をクリックします。

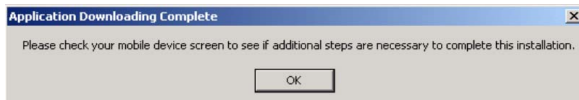
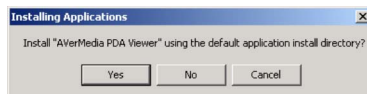
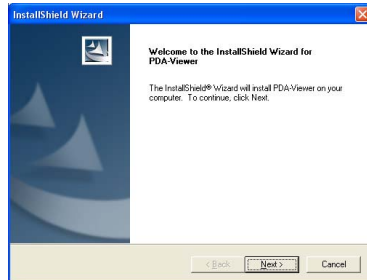
## 8.6 PDA Viewer を使用して NV DVR サーバーにアクセスする

PDA を使用して、インターネット経由で NV DVR にアクセスすることができます。PDA が IE ブラウザに対応しており、またインターネットに接続していることが必要です。この機能を利用するには、PDA Viewer ソフトウェアを ActiveSync 接続を通じてインストールするか、インターネットでダウンロードする必要があります。また、PDA が次の 2 つの要件を満たしていることを確認してください。

OS:	MS Windows CE 4.0 (PocketPC 2003)
CPU:	ARM アーキテクチャ

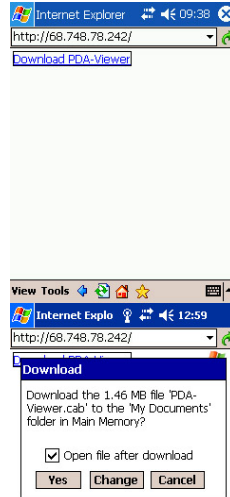
## 8.6.1 PDA Viewer を ActiveSync 通じてインストールするには

1. PDA を PC に接続します。CD-ROM ドライブに CD を挿入し、Install PDA Viewer (PDA ビューアーのインストール) をクリックします。画面に表示される指示に従います。
2. **Next (次へ)** をクリックして続行します。
3. License Agreement (使用許諾契約) をよくお読みになり、全内容に同意する場合は **Yes (はい)** をクリックします。システムにより、自動的にアプリケーションがインストールされます。
4. アプリケーションをデフォルトディレクトリにインストールする確認画面が表示されたら、**Yes (はい)** をクリックします。
5. 完了したら、**OK** をクリックします。



## 8.6.2 PDA Viewer をインターネットからインストールするには

1. インターネットに接続していることを確認します。
2. ウェブブラウザを開き、サーバーIP を入力します。次に、ハイパーリンクである **Download PDA-Viewer (PDA ビューアーのダウンロード)** をクリックします。



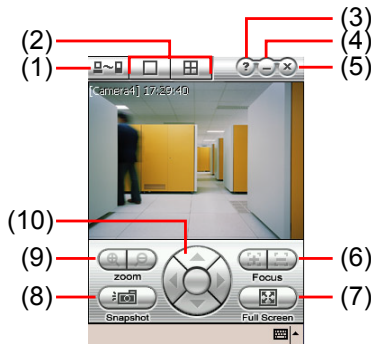
3. Download (ダウンロード) ダイアログボックスが表示されたら、**Open file after download (ダウンロード完了後ファイルを開く)** をチェックして有効にし、**Yes (はい)** をクリックします。

4. インストールが完了すると、Programs (プログラム) リストに PDA-Viewer 5.5 アイコンが表示されます。

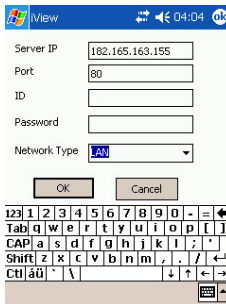


### 8.6.3 PDA Viewer の使用方法

1. Programs（プログラム）にある **PDA-Viewer 5.5** を起動します。
2. PDA Viewer のボタンについて以下に説明します。



名称	機能
(1) 接続	NV DVR サーバーに接続します。これを実行するには、インターネットに接続している必要があります。 iView 画面が表示されたら、Server IP（サーバー IP）、Port（ポート）、ID（ユーザー ID）、Password（パスワード）を入力し、Network Type（接続形式）を選択します。次に、OK をクリックします。
(2) 画面分割モード	2 種類の画面表示形式から選択します。また、別のカメラ番号あるいはチャンネルに切り換えて表示することもできます。
(3) バージョン情報	PDA-Viewer のバージョン情報を表示します。
(4) 最小化	サイズを最小化してタスクバーに表示します。
(5) 終了	PDA-Viewer を閉じます。
(6) Focus (フォーカス)	PTZ カメラのピントを調節して画像をクリアに表示します。



名称	機能
(7) Full screen (全画面)	スクリーン全体にビデオ映像のみを表示します。
(8) Snapshot (スナップショット)	スクリーンショット（画面全体の画像）をキャプチャし、*.bmp 形式で保存します。
(9) Zoom（ズーム）	PTZ カメラの画像を拡大/縮小します。
(10) 方向ボタン	PTZ カメラの焦点を調整し、位置を決定します。

3. ビデオ画質の変更（Video Quality）、音声の有効化/無効化（Disable Audio）、別のカメラの表示（Select Camera）を行うには、ポップアップメニューが表示されるまでビデオ画面上を押します。

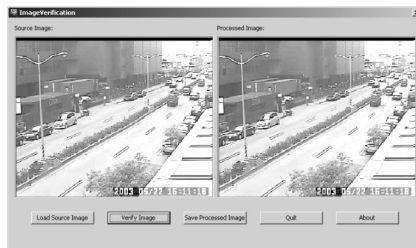


## 第9章 画像照合

ImageVerification（画像照合）は電子透かし技術による確認プログラムで、保存された画像（例えばスナップショット機能により）の信憑性を識別します。このプログラムでは、圧縮されていない bmp 画像ファイルのみを照合することができます。

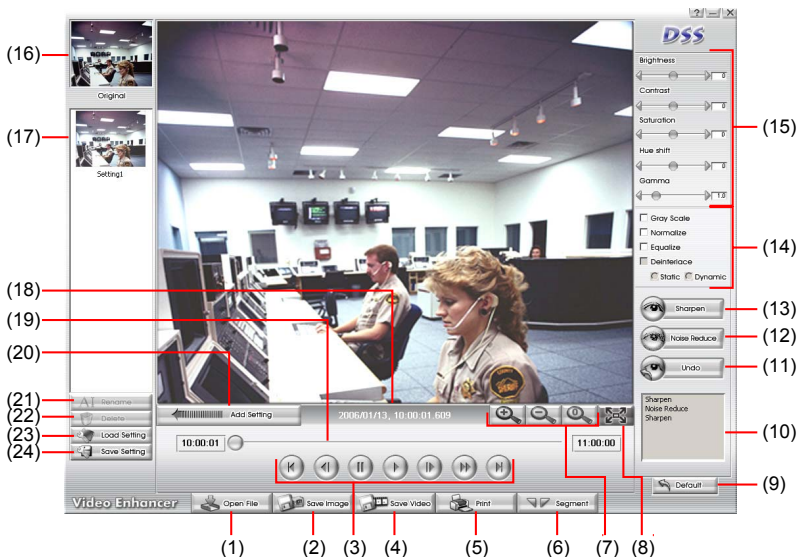
### 9.1 ImageVerification(画像照合)プログラムを起動するには

1. Start（スタート）＞ Programs（プログラム）＞ DSS＞ ImageVerification（画像照合）をクリックします。
2. ImageVerification（画像照合）画面で、Load Source Image（ソース画像のロード）をクリックして画像ソースを見つけます。
3. Verify Image（画像を照合する）をクリックすると画像処理が始まります。
4. Processed Image（処理済画像）画面で結果を確認します。画像が修正されていない場合は、Source Image（ソース画像）と Processed Image（処理済画像）画面の画像は完全に一致します。画像が修正されている場合は警告ダイアログが表示され、修正箇所が強調表示されます。



## 第10章 ビデオエンハンサー

同梱の Video Enhancer（ビデオエンハンサー）はビデオ編集ツールで、\*.dvr 形式のビデオファイルのみを編集することができます。また、ビデオ画質の調整、任意の部分を分割して保存、画像の拡大/縮小、スクリーンショットの印刷あるいは保存を行うことができます。設定を保存し、その他のファイルに適用することも可能です。



名称	機能
(1) Open File (ファイルを開く)	*.dvr 形式のビデオファイルにアクセスします。
(2) Save Image (画像の保存)	スクリーンショット（画面全体の画像）をキャプチャし、*.bmp 形式で保存します。
(3) 再生コントロールボタン	<b>Begin（最初に戻る）</b> :ビデオファイルの最初に移動します。 <b>Previous（コマ戻り）</b> :1 つ前のフレームに戻ります。 <b>Rewind（巻戻し）</b> :ビデオファイルを巻き戻します。 <b>Pause（一時停止）</b> :ビデオファイルを一時的に停止します。 <b>Paly（再生）</b> :ビデオファイルを再生します。 <b>Faster（高速再生）</b> :ビデオファイルを 2 倍速、4 倍速、8 倍速で再生します。 <b>Next（コマ送り）</b> :次のフレームに進みます。 <b>End（最後に進む）</b> :ビデオファイルの終わりに移動します。
(4) Save Video (ビデオの保存)	編集したファイルあるいは分割したファイルを、*.avi 形式で保存します。
(5) Print（印刷）	スクリーンショット（画面全体の画像）を印刷します。

名称	機能
(6) Segment (セグメント)	任意のビデオ部分の開始位置および終了位置にマークをつけます。スライダー上に、2 つの三角形マークが表示されます。ビデオのセグメント化（分割）をキャンセルするには、再度このボタンをクリックします。
(7) ズームボタン	画像を拡大/縮小/標準サイズに戻すことができます。
(8) 全画面	スクリーン全体にビデオ映像のみを表示します。
(9) Default (デフォルト)	ビデオの設定を出荷時設定に戻し、履歴ボックスのすべての変更を削除します。
(10) 履歴ボックス	すべての操作（動作）を一覧表示します。
(11) Undo (元に戻す)	1 つ前の操作（動作）を削除します。
(12) Noise Reduce (ノイズリダクション)	柔軟さを調整し、不具合のある色を修正します。
(13) Sharpness (シャープネス)	画像の輪郭を強調して、画像全体をはっきりとさせます。
(14) 効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>Gray Scale (グレースケール)</b> : 画像を白黒（モノクロ）に変換します。</li> <li>● <b>Normalize (ノーマル化)</b> : 明るさの強度を調整します。</li> <li>● <b>Equalize (均一化)</b> : 暗すぎる画像を自動的に調整します。</li> <li>● <b>De-interlace (インターレース除去)</b> : フレームの重なりを取り除いてスムーズにします。</li> <li>● <b>Static (静止画用)</b> : 静止画用インターレース除去。</li> <li>● <b>Dynamic (動画用)</b> : 動画用インターレース除去。</li> </ul>
(15) 画像調整	Brightness（明るさ）、Contrast（コントラスト）、Saturation（彩度）、Hue（色合い）、Gamma（ガンマ）を調整します。
(16) Original Screen (オリジナル画面)	画像の元の状態を表示します。
(17) 一時設定 ブロック	サンプル設定を表示します。サンプルをクリックすると、その設定が現在のビデオに適用されます。
(18) ステータス バー	ビデオの日付と時間を表示します。
(19) プログレス バー	現在再生しているファイルの進行状況を表示します。バーを移動させて、そのトラックの任意の再生位置を探すこともできます。
(20) Add Setting (設定の追加)	新しい設定を、一時設定ブロックに追加します。

名称	機能
(21) Rename (名前の変更)	一時設定ブロックで選択した設定の名前を変更します。
(22) Delete (削除)	一時設定ブロックで選択した設定を完全に削除します。
(23) Load Setting (設定のロード)	保存した設定を呼び出します。
(24) Save Setting (設定の保存)	設定を、一時設定ブロックに保存します。



## 第11章 ウェブツール

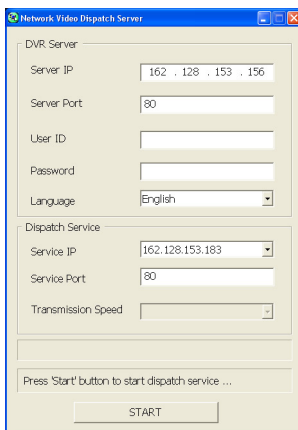
同梱のウェブツールには、ディスパッチサーバーおよび遠隔バックアッププログラムが含まれます。ウェブツールをインストールするには、CD-ROM ドライブに CD を挿入し、**Install Web Tools (ウェブツールのインストール)** をクリックしてください。

### 11.1 ディスパッチサーバー

ディスパッチは、NV DVR サーバーのネットワークトラフィック量を減少させるために設計されています。クライアントは、ディスパッチプログラムを使って、NV DVR サーバーに直接接続するのではなく、NV DVR サーバーに接続されているコンピュータに接続することができます。

**Dispatch (ディスパッチ) プログラムを起動するには:**

1. インターネットに接続していることを確認します。
2. **Start (スタート) > Programs (プログラム) > DSS> Tool (ツール) > Dispatch (ディスパッチ)** をクリックします。
3. DVR Server (DVR サーバー) 欄で、NV DVR の Server IP (サーバーIP) 、Server Port (ポート) 、User ID (ユーザーID) 、Password (パスワード) を入力します。また、表示言語を選択することもできます。
4. 複数のネットワークカードをインストールしている場合は、Dispatch Service (ディスパッチサービス) 欄で、Service IP (サーバーIP) 番号を選択します。
5. **START (開始)** をクリックして接続します。



### 11.2 遠隔バックアップ

Remote Backup (遠隔バックアップ) は、NV DVR サーバーから\*.dvr ファイルをバックアップするための専用機能です。Auto Backup (オートバックアップ) あるいは Manual Backup (マニュアルバックアップ) のいずれかを選択できます。Auto Backup (オートバックアップ) を選択すると、指定した日付から、録画データを 1 時間単位

で連続的にアーカイブします。Manual Backup（マニュアルバックアップ）を選択すると、選択した日付の録画データのみをアーカイブします。



データをバックアップするには、最低 2G のハードディスク容量が必要となります。

#### NV DVR サーバーから録画データをバックアップするには:

1. インターネットに接続していることを確認します。
2. Server Setting（サーバー設定）欄で、NV DVR サーバーの IP、Port（ポート）、User（ユーザーID）、Password（パスワード）を入力し、**Connect（接続）**をクリックします。
3. バックアップモードを選択します。  
 Auto Backup（オートバックアップ）モード：
  - ドロップダウンカレンダーを使って Begin Date（開始日）を選択します。
  - **Add（追加）**をクリックして、Storage Path（保存先）を設定します。
  - 選択済みの Storage Path（保存先）を削除したい場合は、**Delete（削除）**をクリックします。
 Manual Backup（マニュアルバックアップ）モード：
  - **File Select（ファイル選択）**をクリックして、バックアップしようとする日時およびカメラを選択します。
  - **Browse（参照）**をクリックして、Storage Path（保存先）を設定します。
4. **Start Backup（バックアップ開始）**を押すと設定に従ってバックアップを開始し、**Stop Backup（バックアップ終了）**を押すと終了します。

The screenshot shows the 'Remote Backup' window with the following sections:

- Server Setting:** IP (127.0.0.1), User (1), Port (80), Password (empty). Buttons: Connect, Disconnect.
- Auto Backup:**
  - Storage Path:** A table with columns 'Folder Name', 'Free Space', and 'Disk Space'. The first row shows 'C:\Backup\_Auto', '3.99G', and '29.30G'.
  - Begin Date:** A dropdown menu showing '1/13/2006'.
  - Buttons: Add, Delete.
- Manual Backup:**
  - Storage Path:** A text box containing 'C:\Backup\_Manual'.
  - Buttons: File Select, Browse.
- Disconnect:** A section with a progress bar showing '0 %' and buttons: Start Backup, Stop Backup.